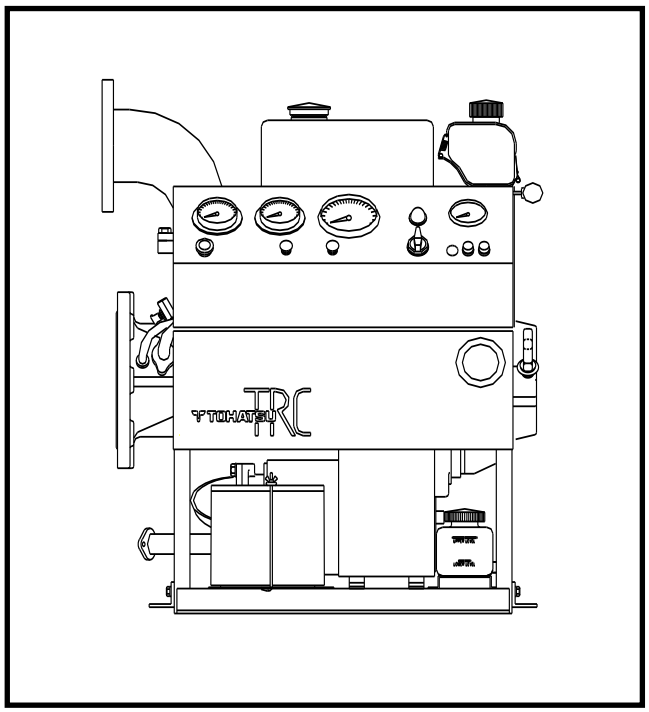
トーハツ
リモートコントロールポンプ

ＴＲＣシリーズ

ＴＲＣ－ＩＭ－２０Ｂ
ＴＲＣ－ＩＭ－２８Ｂ
ＴＲＣ－２ＭＫ－１０Ｂ

設置マニュアル



トーハツ株式会社

141205

おねがい

ＴＲＣ型ポンプの取扱いについては、本機付属の取扱説明書を良く読んで正しくご使用ください。

- ＴＲＣ型ポンプをいつでも正常にご使用できます様にメンテナンス（可搬消防ポンプ整備資格者等）と定期点検（政令で定める点検は、有資格者）を行って下さい。
- 警告表示
  本製品の取扱い上、特にご留意して頂きたい項目には、本機に 3 種類の警告表示をしてあります

⚠ 危険 ・・取扱いを誤った場合に死亡又は重症を負う危険が切迫して生じることが想定される場合

⚠ 警告 ・・取扱いを誤った場合に死亡又は重症を負う危険性が想定される場合

⚠ 注意 ・・取扱いを誤った場合に軽傷又は物的損害の発生が想定される場合

お願い：本機に貼付されている警告ラベルの表示が読みにくくなった場合や、はがれそうになった場合は、すぐに貼り替えて下さい。

○ 制御盤、遠隔盤および充電器等の工事は、電気工事の有資格者の施工を推奨します。
○ 必要に応じて落雷（誘導雷）の対策を施して下さい。

ＴＲＣ型の設置にあたっては、諸法令、規則等を熟読、熟知のうえ着工して下さい。尚、建築物の消火設備に関係の深い規制法、参考規格等を下記に示します。

1） 消防法（昭和２３年法律第１８６号）
2） 消防法施行令（昭和３６年政令第３７号）
3） 消防法施行規則（昭和３６年自治省令第６号）
4） 危険物の規制に関する政令（昭和３４年政令第３０６号）
5） 危険物の規制に関する規則（昭和３４年総理府令第５５号）
＊6） 火災予防条例（昭和３７年東京都条例第６５号）
＊7） 火災予防条例規則（昭和３７年東京都規則第１００号）
8） 建築基準法（昭和２５年法律第２０１号）
9） 建築基準法施行令（昭和２５年政令第３３８号）
１０） 各種消防用設備等に係わる技術上の規格を定める省令

注．＊印は東京の場合で、地方において○○市（町村）火災予防条例（規則）に該当。

目　　次

Ⅰ　設置要領

１．ポンプ室の条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．ポンプ本機の固定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
３．吸水管の配管方法　１）地下水槽の場合・・・・・・・・・・　１
　　２）地上水槽の場合・・・・・・・・・・　２
４．吐出管の配管方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
５．真空ポンプ排気管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
６．エンジン冷却水排水管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
７．消音器排気管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
８．制御盤／遠隔盤の取付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
９．直流電源装置の取付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
１０．自動充電器の取付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
１１．機器間の配管及び結線・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
１２．旧ＴＲＣを更新する場合の注意・・・・・・・・・・・・・・　５

Ⅱ　参考資料

資料１：ポンプ室の条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
資料２：ポンプ本機の固定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
資料３－１：吸水管の配管（ＩＭ-２８Ｂ地下水槽の場合）・・　８
資料３－２：吸水管の配管（地下水槽の場合）・・・・・・・・・　９
資料４：吸水管の配管（地上水槽の場合）・・・・・・・・・・・　１０
資料５：吸水管の配管（電動バルブの接続）・・・・・・・・・・　１１
資料６－１：吐出管の配管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
資料６－２：吐出管の配管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
資料７：フレキシブルホースの選定基準・・・・・・・・・・・・　１４
資料８：真空ﾎﾟﾝﾌﾟ排水管/ｴﾝｼﾞﾝ冷却水排水管/ﾏﾌﾗ排気管・・・　１５
資料９：サブマフラ取付関係図・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
資料１０：制御盤/遠隔盤の取付・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
資料１１－１：自動充電器外観図・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
資料１１－２：自動充電器仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
資料１２－１：端子間結線図（ＩＭ－２８Ｂ/２０Ｂ）・・・・　２０
資料１２－２：端子間結線図（２ＭＫ－１０Ｂ）・・・・・・・　２１
資料１３－１：配管摩擦損失水頭線図・・・・・・・・・・・・・　２２
資料１３－２：管継手及び弁類の直管長さと換算表・・・・・・　２３
資料１４：吸/吐出口取付関係図（新・旧）・・・・・・・・・・・　２４
資料１５：オプション部品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・　２５

Ⅲ　仕様書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６～２８

Ⅳ　性能曲線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９～３１

Ⅴ　外観図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２～３７

Ⅵ　回路図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８，３９

設置要領

１．　ポンプ室の条件（Ｐ６参照）

ポンプ室は、保守点検に便利で延焼による危険のない場所に設置し、以下の内容にも注意して下さい。

１）換気に注意して下さい

ポンプはガソリンエンジンで駆動するため、充分な給気と完全な排気が出来るようにポンプ室壁面の上下に各１ヶ所、対面になるように換気口を設けて下さい。

（換気扇を取付けるとさらによいでしょう）

２）高温多湿をさけて下さい

高温，多湿による腐蝕、電子機器の破損、性能低下等の支障をきたさぬよう排水、換気には十分注意して下さい。又、凍結の恐れのある地域では冬期の凍結防止措置（ポンプ及び配管等）を講じてください。（電気式ヒーターの場合は必ずサーモスタット付を使用して下さい。また、最低気温によってヒーターの巻き数が異なりますので、ヒーターメーカーに確認して下さい）

３）スペースを設けて下さい

操作、点検ばかりでなく、安全性からもポンプ本機端から壁面まで最低６００mm以上とって下さい。尚、既設のポンプ室で十分なスペースがとれない場合、所轄の消防署に指導を受けて下さい。

２．　ポンプ本機の固定

ポンプの据え付けは強固な基礎に固定して下さい。

１）ポンプ本機取付けボルト位置はＰ７を参照。

２）固定用基礎ボルトは、Ｌ又はＪ形Ｍ１０×２００（JIS B-1178）等を使用して下さい。

３）締付けは必ずナットおよびバネ座金を用いて、各ネジ共均等に締め付けて下さい。

４）基礎コンクリート台の高さを床面より５０mm～２００mmとすると設置上便利です。

５）床面は吸水側に向かって若干の下り勾配（1/50～1/100）にして下さい。

６）基礎コンクリート台の周りに排水溝又は、排水管を設置して下さい。（Ｐ１５参照）

３．　吸水管の配管方法

１）地下水槽の場合

配管方法はＰ８、９を参考にして下さい。但し、吸水高さ、吸水管長が指示寸法より大きくなる場合は放水量に影響しますので事前に相談して下さい。尚、取付けにあたり以下の項目に注意して下さい。

① 吸管径は指定の鋼管（ＩＭ２８：１５０Ａ、ＩＭ２０／２MK：１００Ａ）を原則と

し、それ以外の管径を使用する場合は事前に相談して下さい。又、空気溜まりに注意して下さい。

（レジューサを使用する場合は偏心レジューサを使用し、配管上面を同一にして下さい）

② 耐震措置としてフレキシブルホース（認定品）を必ず使用して下さい。（Ｐ１４参照）
この場合、フランジはルーズタイプを使用して下さい。

③ 配管の支持は必ず設け、位置はＰ８を参照して下さい。

④ 吸水管長は出来るだけ短く、曲がりの数は最小にして下さい。

⑤ 吸水管の継手は気密に注意して施行して下さい。

⑥ 吸水管には必ずストレーナを取付けて下さい。

⑦ フート弁は使用しないで下さい。

⑧ 吸水口の位置は貯水槽の水面、壁面、および底面より適正な距離（Ｐ８、９参照）を保ち、吸水口の乱流や、空気の吸い込みを防止して下さい。

⑨ 吸水管は他のポンプと併用せず単独で配管して下さい。

⑩ 凍結の恐れのある地域ではフレキシブルホースと配管の間に仕切弁（ゲート）を設け、ポンプに不凍液を入れるときに吸水しない措置を講じて下さい。

⑪ 吸水管は、空気溜まりが無いようポンプに向かって上勾配の配管にして下さい。

２）地上水槽の場合

水源の水位がポンプより高い位置にある場合は、電動バルブを使用して下さい。（配線は結線図参照・・Ｐ１１）

配管方法は、Ｐ１０を参考にして下さい。尚、取付けにあたり以下の項目に注意して下さい。

① 吸管径は指定の鋼管（ＩＭ２８：１５０Ａ、ＩＭ２０／２ＭＫ：１００Ａ）を原則とし、それ以外の管径を使用する場合は事前に相談して下さい。

② 耐震措置としてフレキシブルホース（認定品）を必ず使用して下さい。（Ｐ１４参照）
この場合、フランジはルーズタイプを使用して下さい。

③ 電動バルブはポンプに直接取付けず配管とフレキシブルホースの間に取付けて下さい。

④ 配管の支持は必ず設け、位置はＰ１０を参照して下さい。又、配管の途中に排水弁を設けて下さい。

⑤ 吸水管長は出来るだけ短く、曲がりの数は最小にして下さい。

⑥ 吸水管の継手は気密に注意して締め付けて下さい。

⑦ 吸水管（水槽内）には必ずストレーナを取付けて下さい。

⑧ 水槽上部より吸水するＵ字形配管の場合には、空気溜まりに注意して下さい。
空気溜まりがあると放水が不安定になります。

４．　吐出管の配管方法

配管方法はＰ１２、１３を参考にして下さい。尚、配管にあたり以下の項目に注意して下さい。

１）管径（鋼管）は指定の鋼管（ＩＭ２８：１００Ａ、ＩＭ２０／２ＭＫ：６５Ａ）以上のこと。（立管までの径で、立管及び枝管は別）又、吐出圧力も考慮して下さい。（Ｐ２２，２３摩擦損失水頭図参照）

２）耐震措置及びエンジン振動吸収としてフレキシブルホース（認定品）を必ず使用して下さい。（Ｐ１４参照）この場合、フランジはルーズタイプを使用して下さい。

３）配管の支持は必ず設け、位置はＰ１２，１３を参照して下さい。

４）吐出管は出来るだけ曲がりの数を少なくして下さい。

５）ＩＭ２８の逆止弁は付属のウエハーチャッキを使用し、配管とフレキシブルホースの間に取付けて下さい。（ＩＭ２０／２ＭＫは逆止弁を内蔵しているため不要）また、流量計をポンプ室に設ける場合、吐水管本管と流量計の間に仕切弁を設け、吐出端には流量調整弁付けて下さい。

６）流量計は、必要流量により選定して下さい。

７）吐出管最下部にはドレンコックを必ず付けて下さい。

５．　真空ポンプ排水管

１）排水管はφ４０～５０の水道用亜鉛メッキ鋼管等に真空ポンプ排水パイプを差し込み、接続部は大気開放にして下さい。（Ｐ１５参照）

２）排水勾配を必ず付けて下さい。（運転終了後残水の無いように施行して下さい。）

注意① 排水管出口は貯水槽には戻さず排水溝（又は屋外）に導いて下さい。

② 排水管は必ず固定して下さい。

６．　エンジン冷却水排水管

１）排水継手（附属品）タケノコ部をエンジン冷却水排水パイプに差し込み、排水管（水道用亜鉛メッキ鋼管、呼び3/8“以上）とソケットを介して接続して下さい。又、ポンプ本体排水パイプと一緒に排水する場合は、φ４０～５０の水道用亜鉛メッキ鋼管等に接続して下さい。（Ｐ１５参照）

２）排水勾配を必ず付けて下さい。（運転終了後残水の無いように施行して下さい。）

３）排水管出口は貯水槽に戻して下さい。

４）排水管は必ず固定して下さい。

５）貯水槽までの距離がある場合は管径を大きくして下さい。

７．　消音器排気管

１）付属のパイプエキゾースト（インターロック型螺線管、呼び４０）を必ず使用し、耐振措置を講じて下さい。（Ｐ１５参照）

２）消音器排気管フランジとの結合は必ず付属のガスケットを使用し、排気洩れの無いようボルト及びナットで締め付けて下さい。

３）パイプエキゾーストと固定排気管（水道用亜鉛メッキ鋼管、呼び４０Ａ以上）は継手又は溶接で結合し、排気洩れの無いように注意して下さい。

４）固定排気管は支持金具を使用して下さい。（下り勾配のこと）

５）排気の出口は必ず屋外に設け、排気方向は下向きにして積雪、雨水の侵入を防止する措置を講じて下さい。（排気口に防虫メッシュ等を取付けないで下さい）

６）塗装を行う場合は、耐熱塗料を使用して下さい。

７）サブマフラを設ける場合はトーハツ純正オプションを使用して下さい。
（Ｐ１６サブマフラ取付関係図参照）

８）排気管全長は４０Ａの場合フランジより３m以内とし、それ以上の場合は５０Ａとして下さい。（但し１０m以内）

８．　制御盤／遠隔盤の取付

１）制御盤／遠隔盤は、Ｐ１７の取付けピッチにて操作性を考慮した場所に取付けて下さい。（取付け穴は４㎜スクリュ用）

２）電線管（鋼製又は相当品）の取付けは任意の位置に穴を開けて取付けて下さい。

９．　直流電源装置の取付（２ＭＫ１０Ｂ）

１）電源装置取付けの際、壁面との隙間は１０mm以上として下さい。

２）基礎ボルトはＭ１０とし、凸寸は２５～３０mm。

３）取付けピッチはＰ１７を参照。

４）電源装置の取付けは水平にして下さい。

１０．自動充電器の取付（ＩＭ２０／２８Ｂ）

１）充電器は、棚等を設けて固定して下さい。
（Ｐ１８参照）

２）充電器自体放熱するためケース等で密閉しないで下さい。

３）入力側（ＡＣ１００Ｖ）を直接配電盤に接続する場合はプラグをカットし丸形圧着端子を取付て接続して下さい。（必要に応じて避雷器を取付けて下さい。）

４）出力側のプラグを制御盤の充電器端子に接続して下さい。（Ｐ２０参照）

１１．機器間の配管及び結線

１）配管

① 電線管（鋼製及び相当品）は地中埋設を原則とする。但し、困難な場合は消防用設備基準により施設して下さい。

② 電線管先端は必ずブッシングを使用し、電線の保護を図って下さい。又、各盤との固定はロックナット（ダブル）を使用して下さい。

２）結線（端子間結線図参照・・Ｐ２０，２１）

① 本機と各盤の結線は耐火又は耐熱電線（消防用設備基準）を使用して下さい。
（太さ及び許容長さは結線図Ｐ２０，２１参照）
※TRC2MKと直流電源装置を接続するバッテリコード長さが５ｍを越える場合は、２０□以上の電線を８ｍ以内で使用して下さい。（但し寒冷地では３０□を推奨）

② 各盤の端子台との接続は、丸形圧着端子（３ｍｍ用）を使用し確実に固定して下さい。（フォーク形端子は使用しないで下さい）

③ 火災報知器との連動は原則として制御盤に接続して下さい。但し、遠隔盤でも可能です。

④ 直流電源装置又は、自動充電器の入力電源（１００Ｖ）は、他の電気回路の開閉器又は遮断機によって遮断されない配線にして下さい。（非常電源専用受電設備基準参照）

⑤ 落雷対策用にサージアブソーバの取付けを推奨いたします。
但し、直撃雷には対応できません。（直流電源装置にはサージアブソーバが内蔵されています）

１２．旧ＴＲＣを更新する場合の注意（設置上）

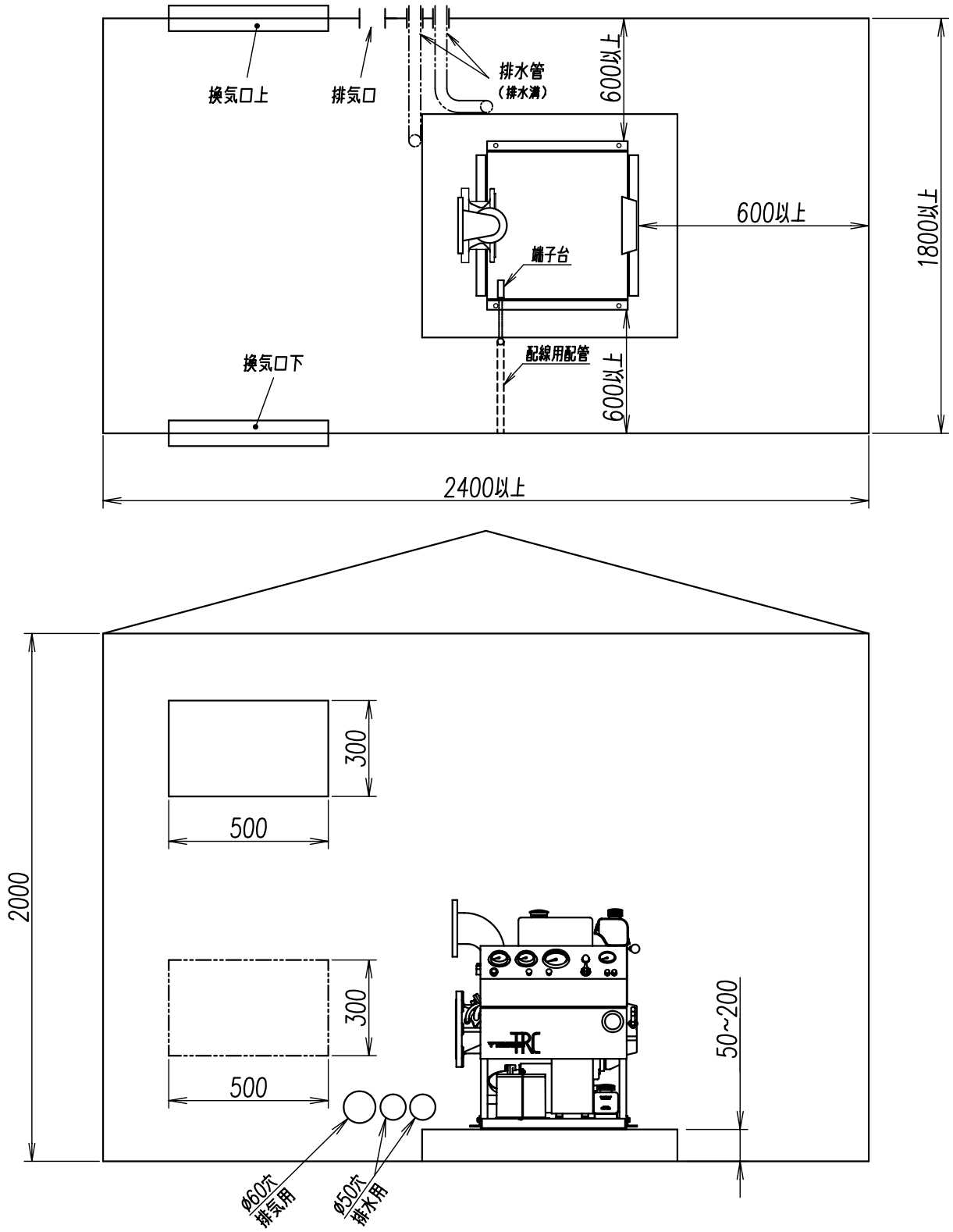
旧ＴＲＣを新型に更新する場合は、吸／吐出口位置および口径寸法が異なりますので下記方法で対応願います。（資料１４）

１）ＩＭ２８の場合
吸／吐出口間の前後寸法（フランジ面方向の段差）
吐出口エルボを旧型の６５に替えた場合、吐出フランジ面に対して吸口フランジ面側に１０ｍｍの隙間ができますので、吸口側にスペーサ（オプション：Ｐ２５参照）を取付けて対応願います。

２）ＩＭ２０／２ＭＫの場合
吸／吐出口間の前後寸法（フランジ面方向の段差）
吐出フランジ面に対して吸口フランジ面側に１０ｍｍの隙間ができますので、吸口側にスペーサ（オプション：Ｐ２５参照）を取付けて対応願います。

資料1
ポンプ室の条件

ポンプ室関係図（参考）



ポンプ室

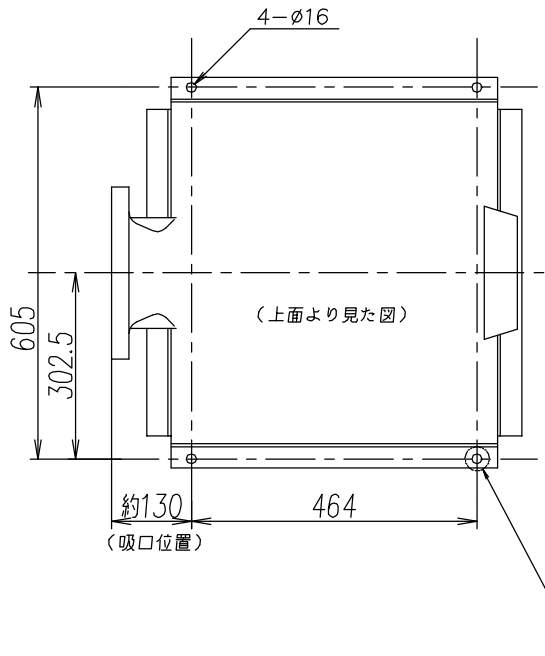
1,ポンプ設定のためのポンプ室については充分に風水害に耐えられる構造である事。
2,エンジンポンプ設置のための通気口を最低2ヶ所対面の上下に設けること。

071120

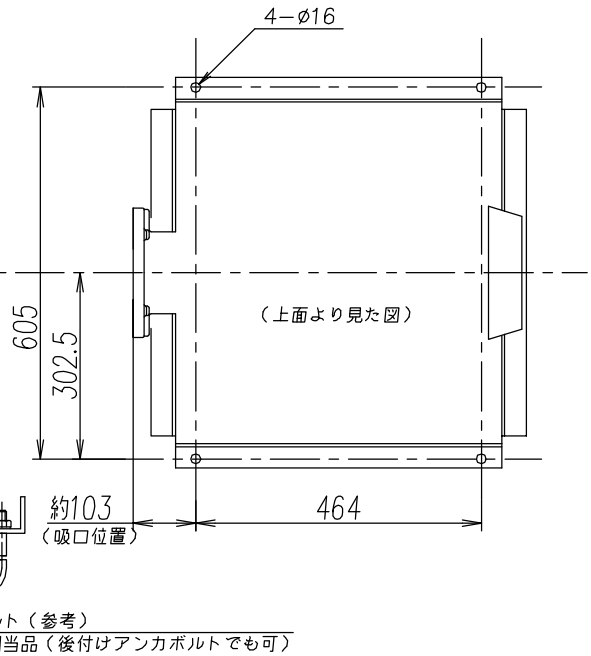
資料2
ポンプ本機の固定

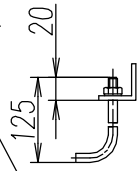
TRC シリーズ　本機取付関係図（参考）

TRC－ＩＭ－28B

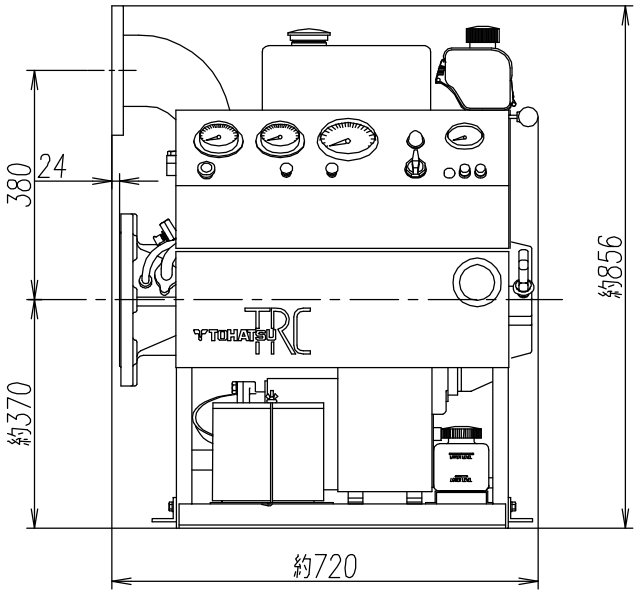


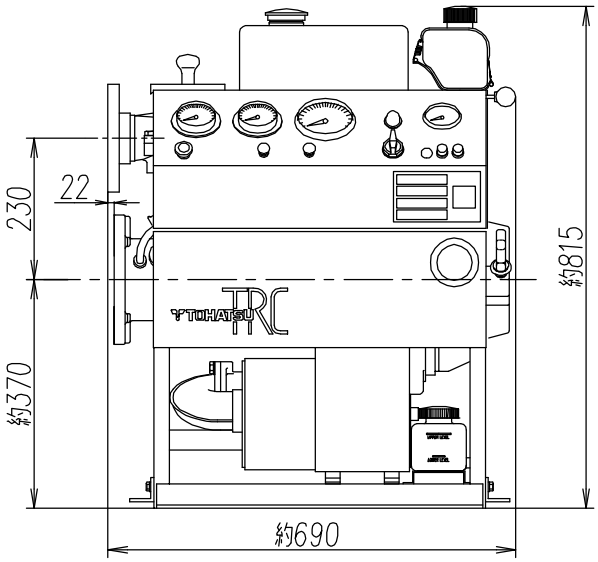
TRC－ＩＭ－20B／2MK－10B





基礎ボルト（参考）
J形又は相当品（後付けアンカボルトでも可）





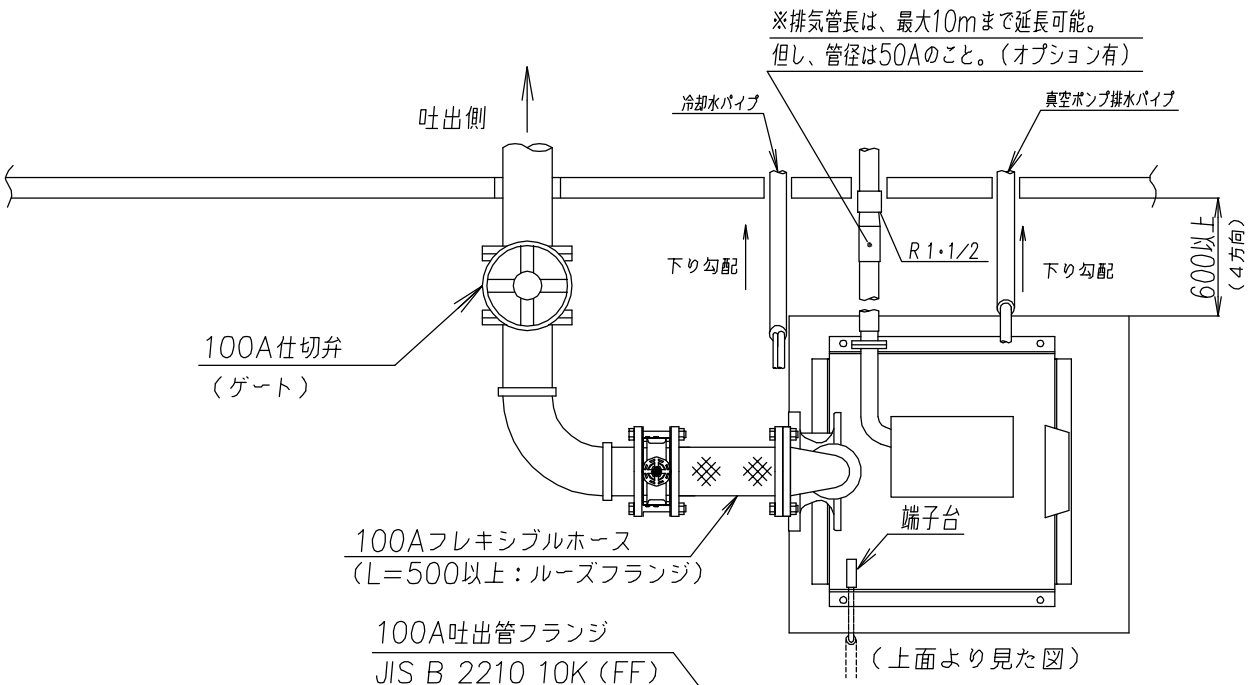
141205

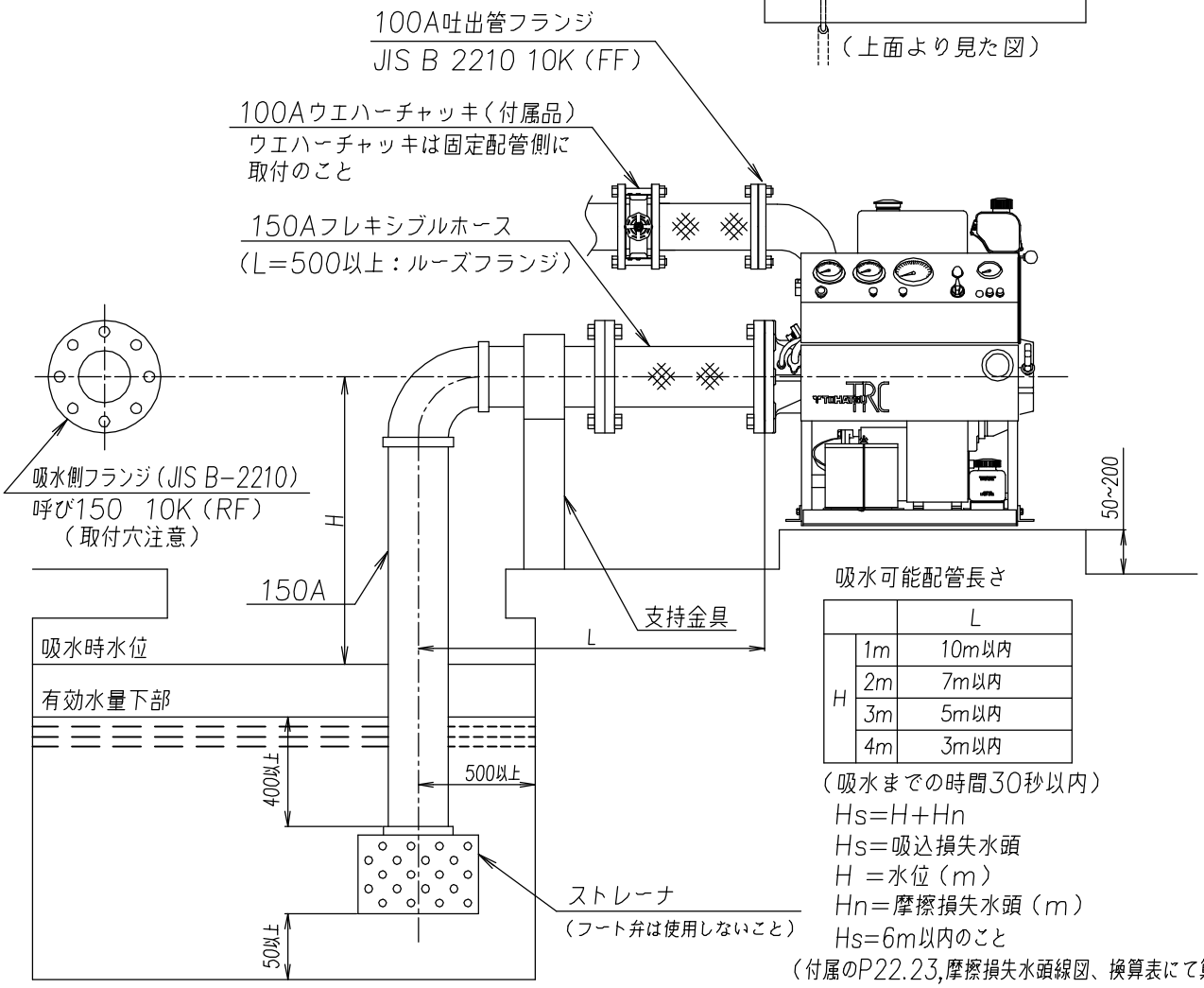
資料3−1

吸水管の配管（地下水層の場合）

ポンプ室設置関係図（参考）

TRC-IM-28B





吸水可能配管長さ

		L
H	1m	10m以内
	2m	7m以内
	3m	5m以内
	4m	3m以内

（吸水までの時間30秒以内）

Hs=H+Hn

Hs=吸込損失水頭

H =水位（m）

Hn=摩擦損失水頭（m）

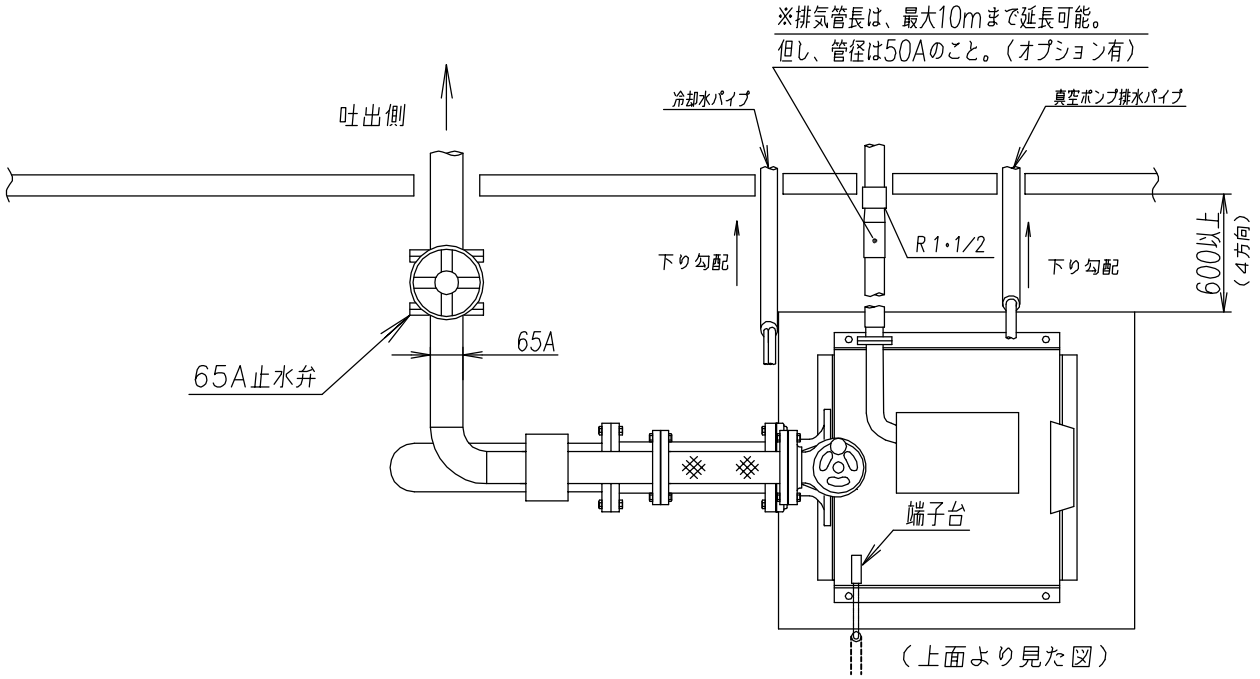
Hs=6m以内のこと

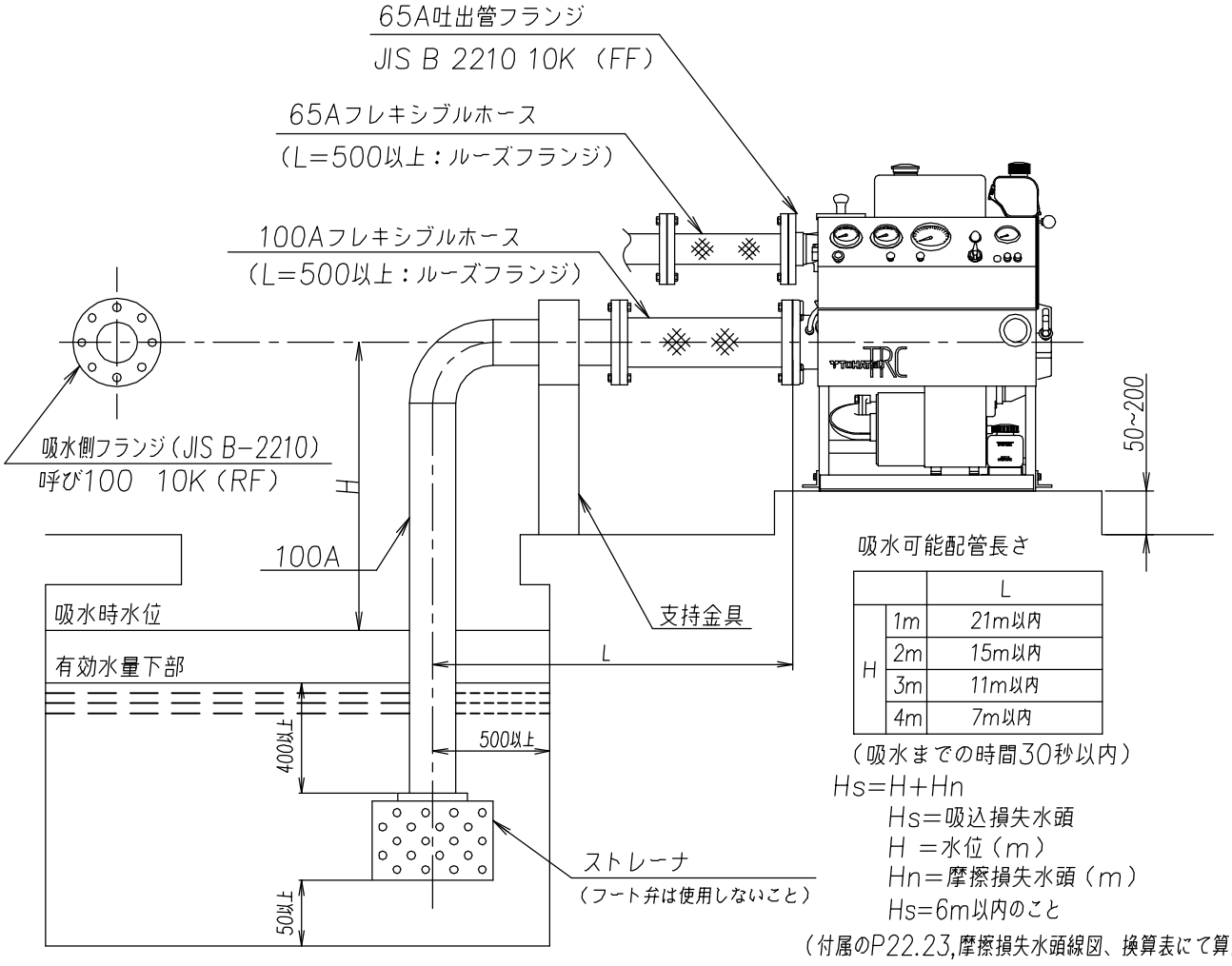
（付属のP22.23,摩擦損失水頭線図、換算表にて算出）

資料3－2
吸水管の配管（地下水層の場合）

ポンプ室設置関係図（参考）

TRC－IM－20B
TRC－2MK－10B





吸水可能配管長さ

H	L
1m	21m以内
2m	15m以内
3m	11m以内
4m	7m以内

（吸水までの時間30秒以内）

Hs＝H＋Hn
Hs＝吸込損失水頭
H ＝水位（m）
Hn＝摩擦損失水頭（m）
Hs＝6m以内のこと

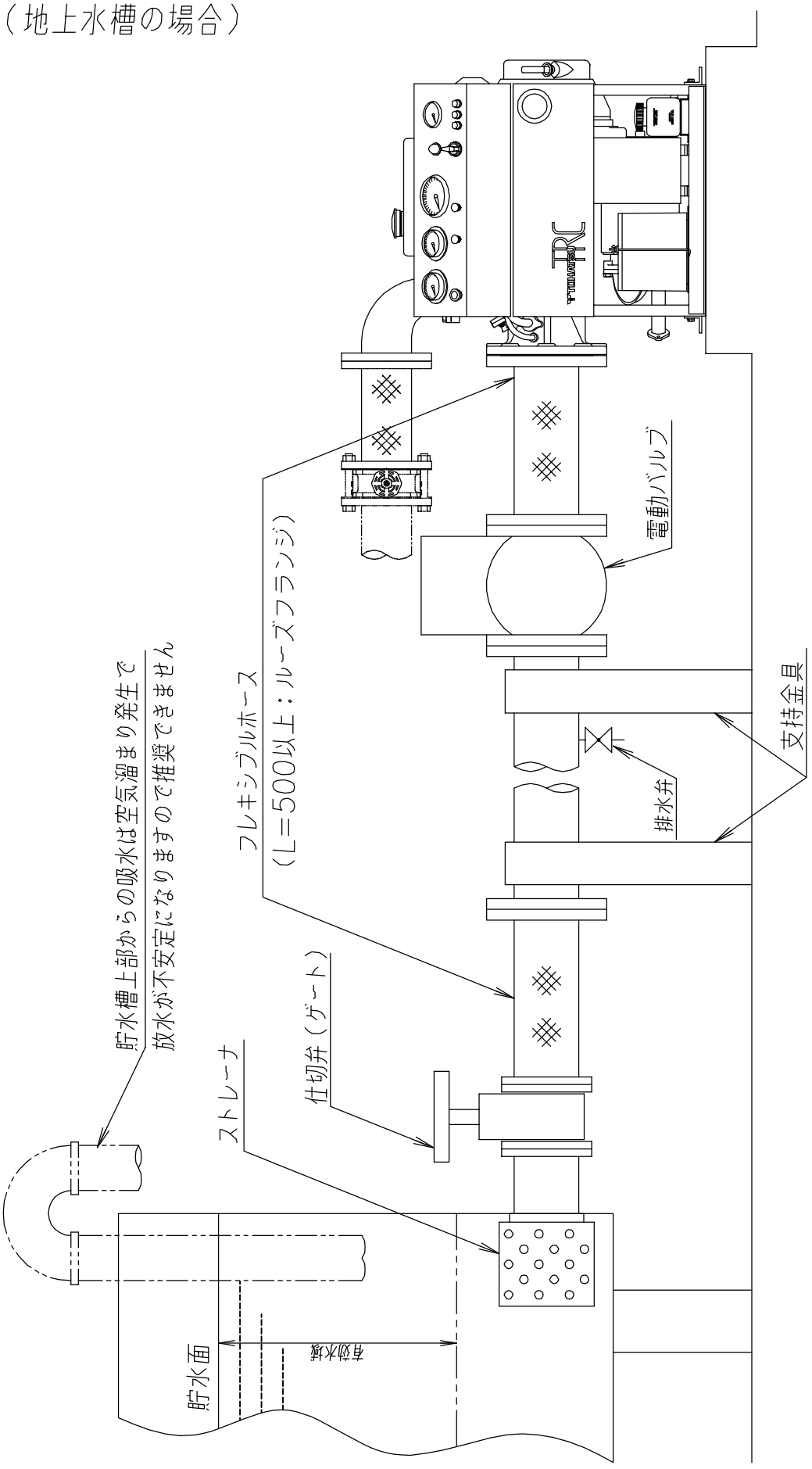
（付属のP22.23,摩擦損失水頭線図、換算表にて算出）

資料４

吸水管の配管（地上水槽の場合）

TRC-IM-28B
TRC-IM-20B
TRC-2MK-10B

地上水槽設置関係図

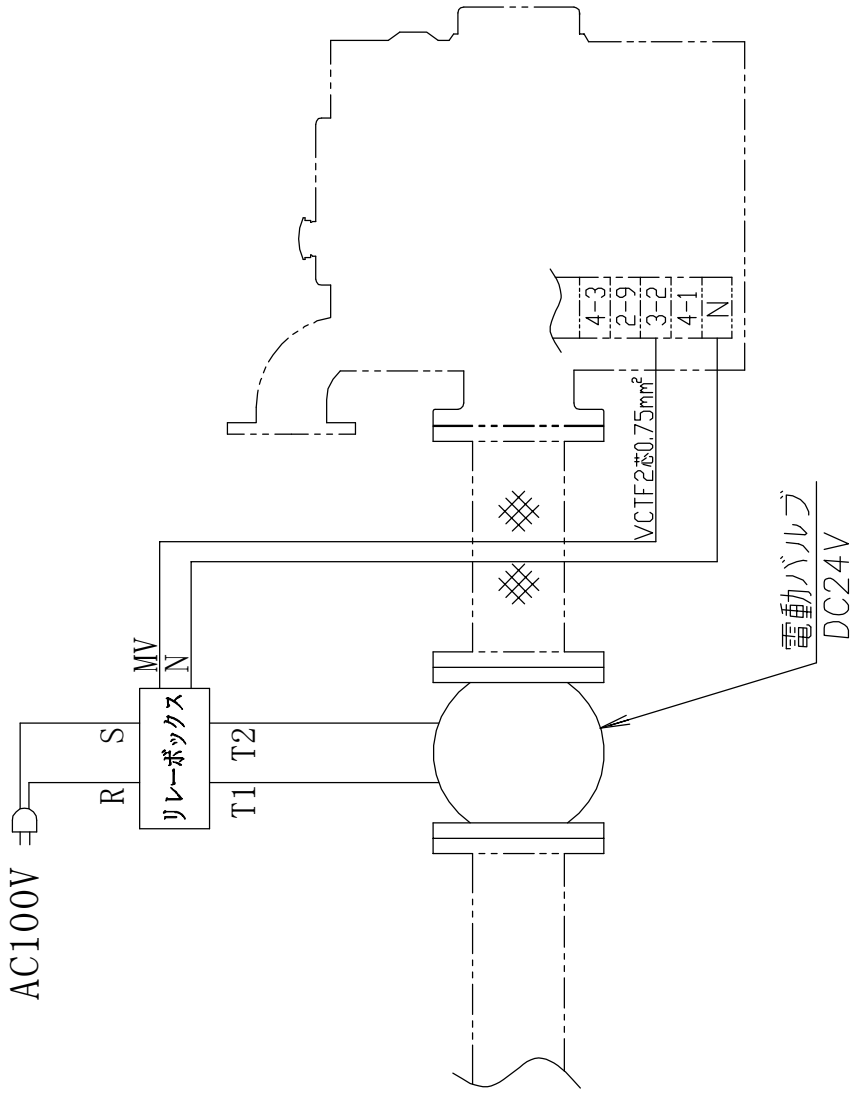


141205

資料５

吸水管の配管（電動バルブの接続）

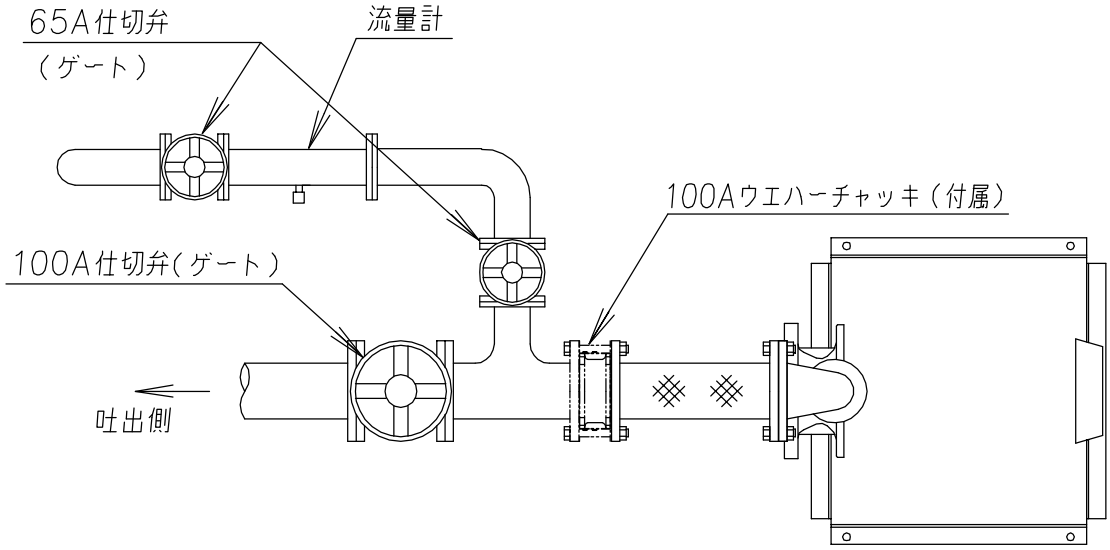
TRC-IM-28B
TRC-IM-20B
TRC-2MK-10B

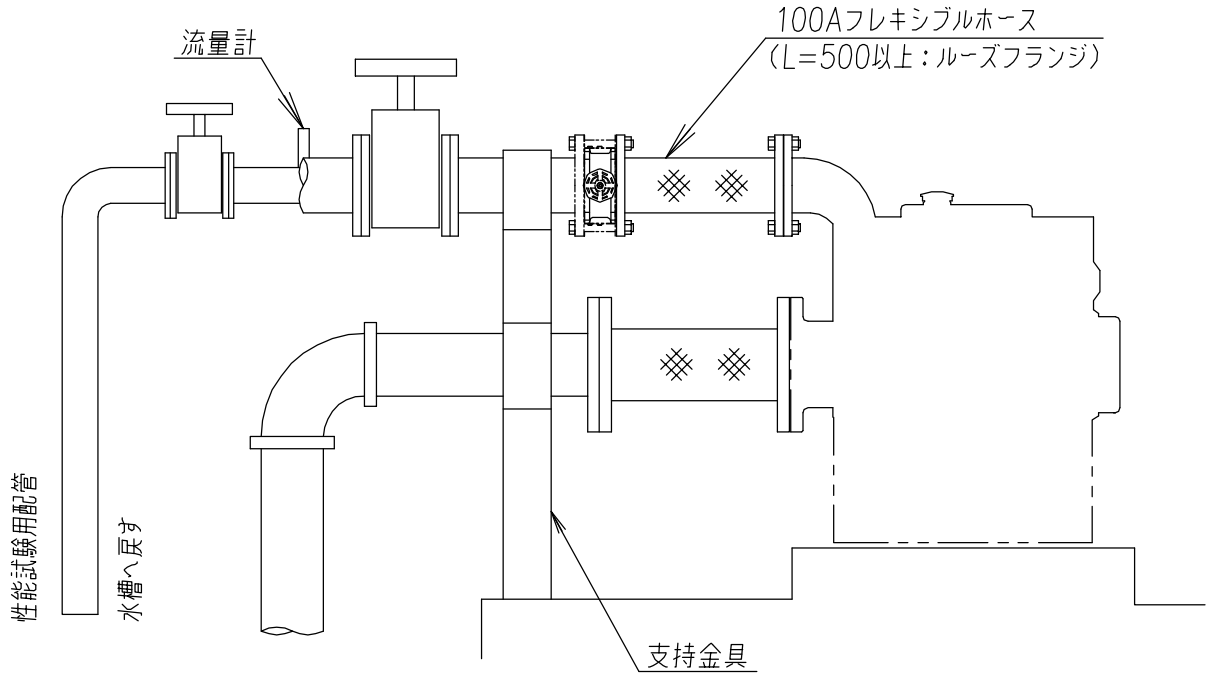


資料６－１

吐出管の配管

TRC-IM-28B



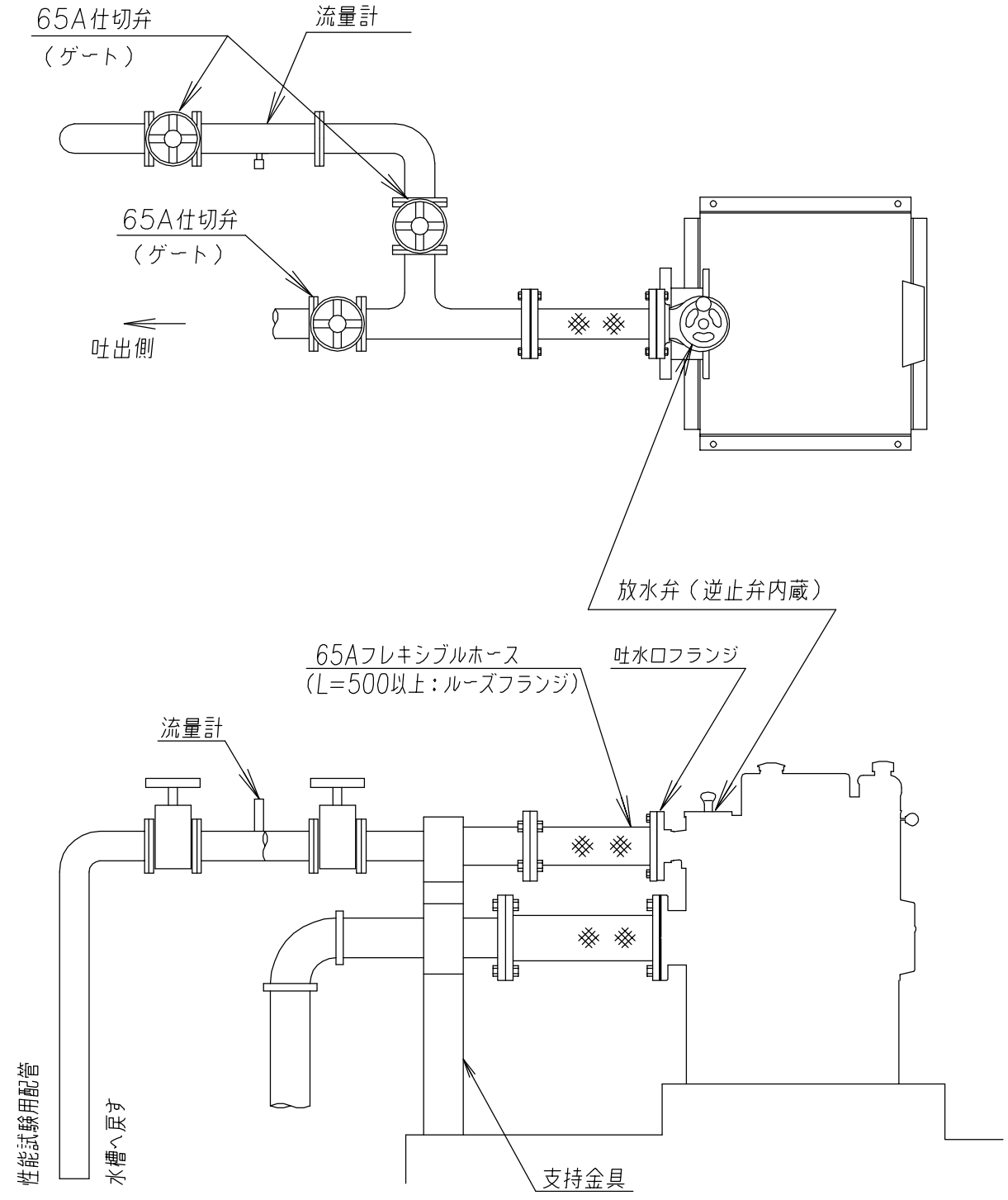


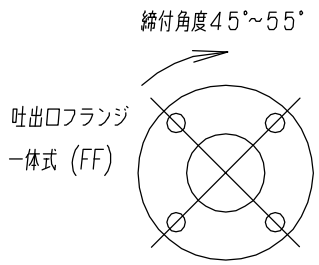
140707

資料６－２

吐出管の配管

TRC-IM-20B
TRC-2MK-10B





フランジの取付方法

吐出口フランジとポンプ側の結合は、ねじ式のため 下記の方法で締め付けて下さい。

締付トルク：35~45Nm （締付角度で行う場合は、パッキン 接触時から50°±5°）

注意！ フランジの4箇所穴は、締付状態で位置が変わるため
フレキシブルホース側のフランジを必ずルーズフランジ
にして下さい

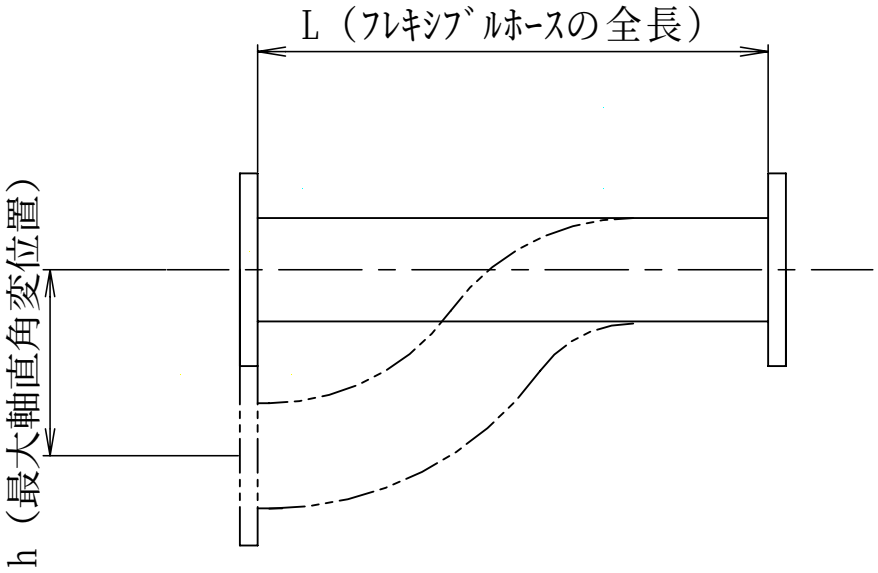
141205

資料7　　フレキシブルホースの選定基準

消防予代199号（平成5年6月30日）による認定品を使用して下さい。
選定は下表の条件にて長さを決定して下さい。
フランジ部はルーズタイプを使用して下さい。

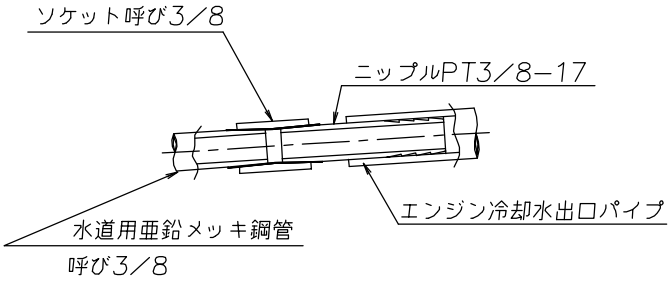
最大軸直角変位置（h）		50	100	150	200	250	300	350	400
A	B	フレキシブルホースの全長（L：単位：mm）							
65	2 1/2	600	800	900	1000	1100	1200	1300	1400
80	3	700	800	1000	1100	1200	1300	1400	1500
100	4	700	900	1100	1200	1300	1400	1500	1600
125	5	800	1000	1200	1300	1400	1500	1600	1800
150	6	800	1100	1300	1500	1600	1700	1800	1900

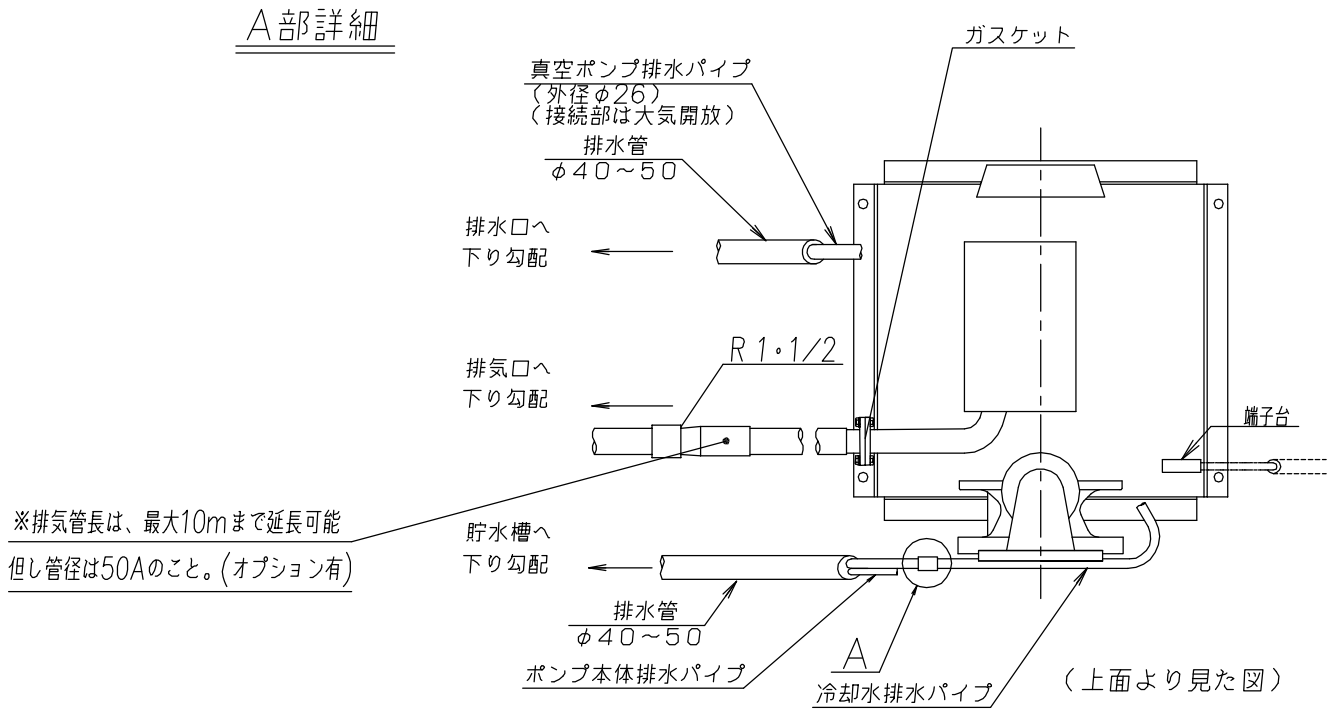
消防危第20号（　（財）日本消防設備安全センター認定　）

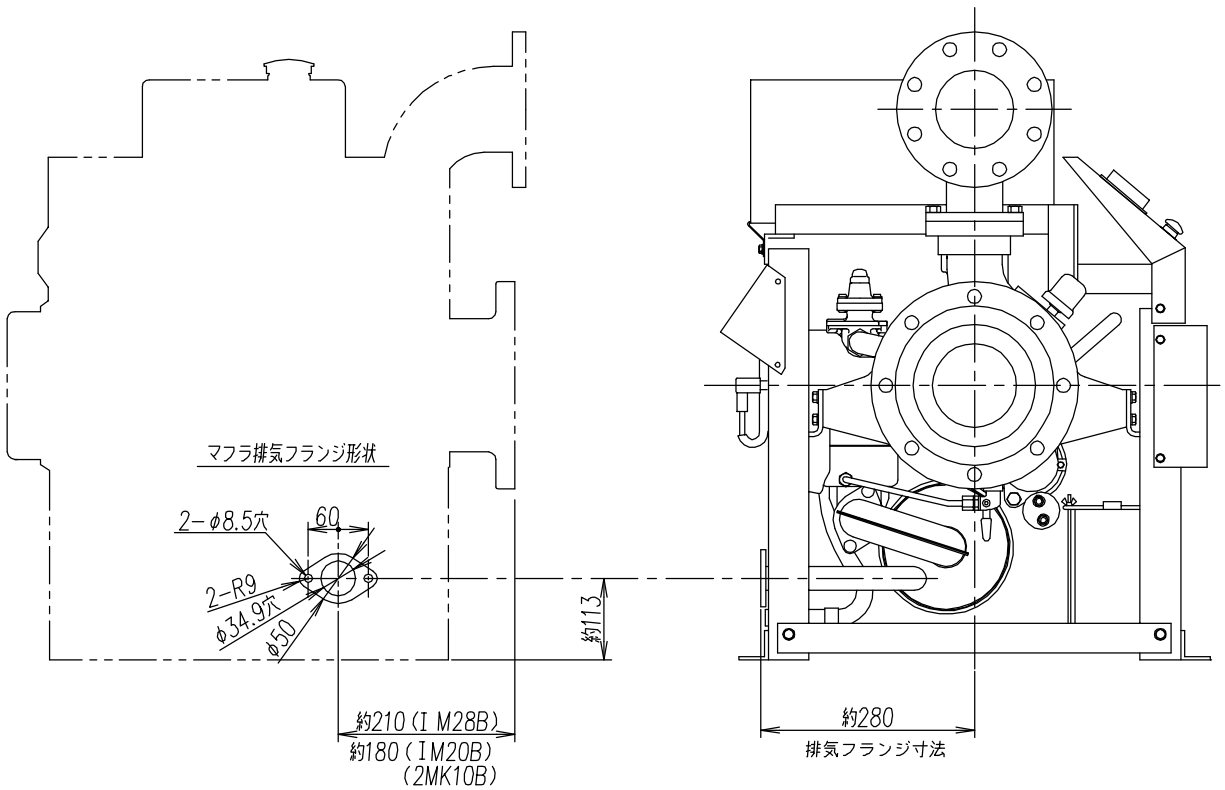


071120

資料8
真空ポンプ排水管／エンジン冷却水排水管／マフラ排気管







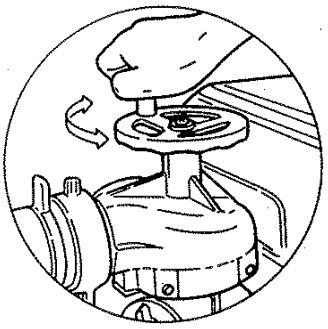
141205

③ 吐出口・・・・開（常時）

ＴＲＣＩＭ２４Ｂ・・・・右図

ＴＲＣＩＭ２８Ｂ・・・・チャッキ弁

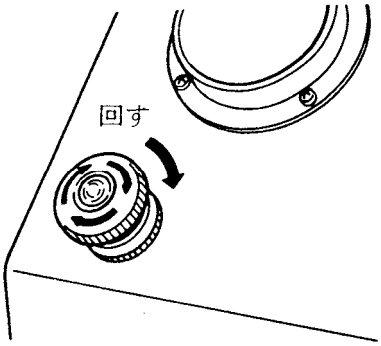
（自動開閉）



④ 本機操作盤の非常停止スイッチはランプ

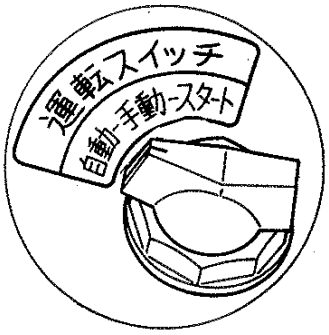
・・・消灯（常時）

点灯時は右に回して消灯（右図）



⑤ 自動－手動　切換スイッチ

・・「自動」位置（手動ランプ消灯を確認）



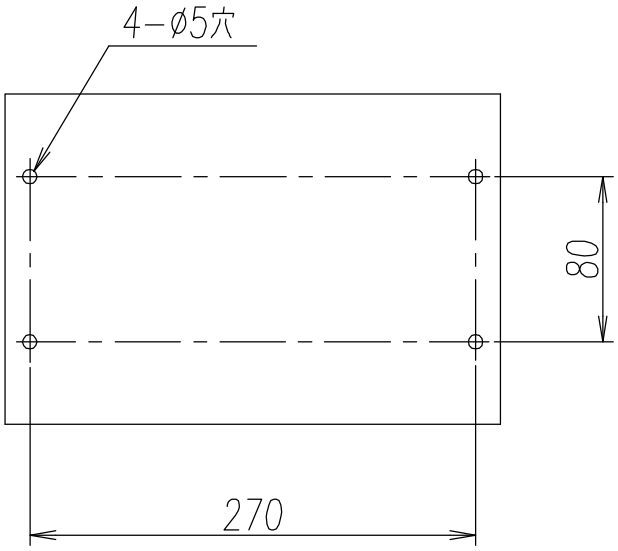
◎スロットルは設置時に必要な回転速度にセットされています。

資料１０

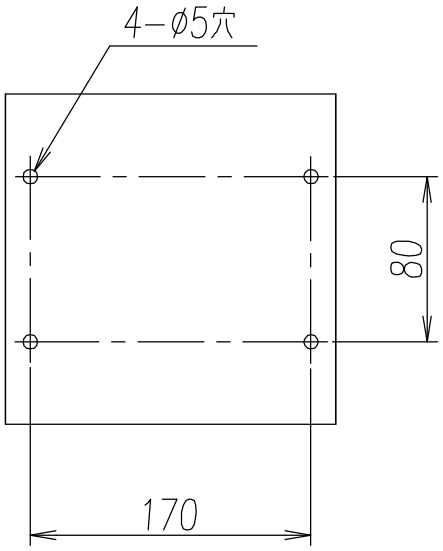
制御盤／遠隔盤の取付

TRC-IM-28B
TRC-IM-20B
TRC-2MK-10B

制御盤／自動盤（オプション）



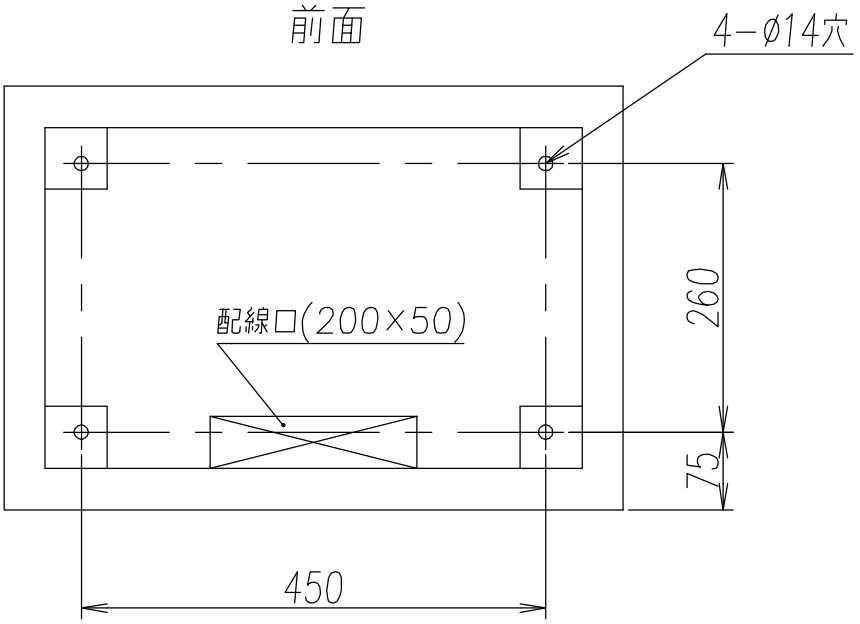
遠隔盤　（TRC 2MK-10B）オプション



直流電源装置の取付

TRC-2MK-10B

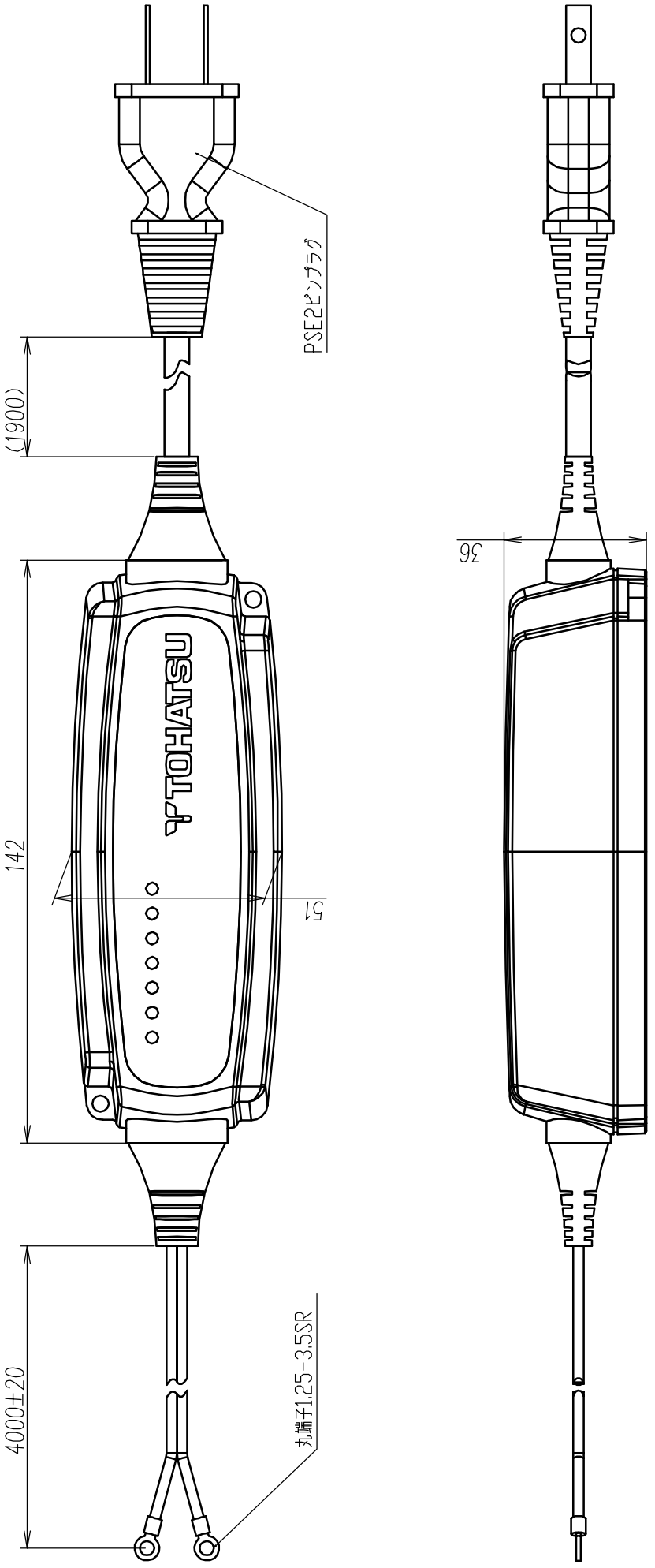
前面



下から見た図

自動充電器外観図

199−39035−2



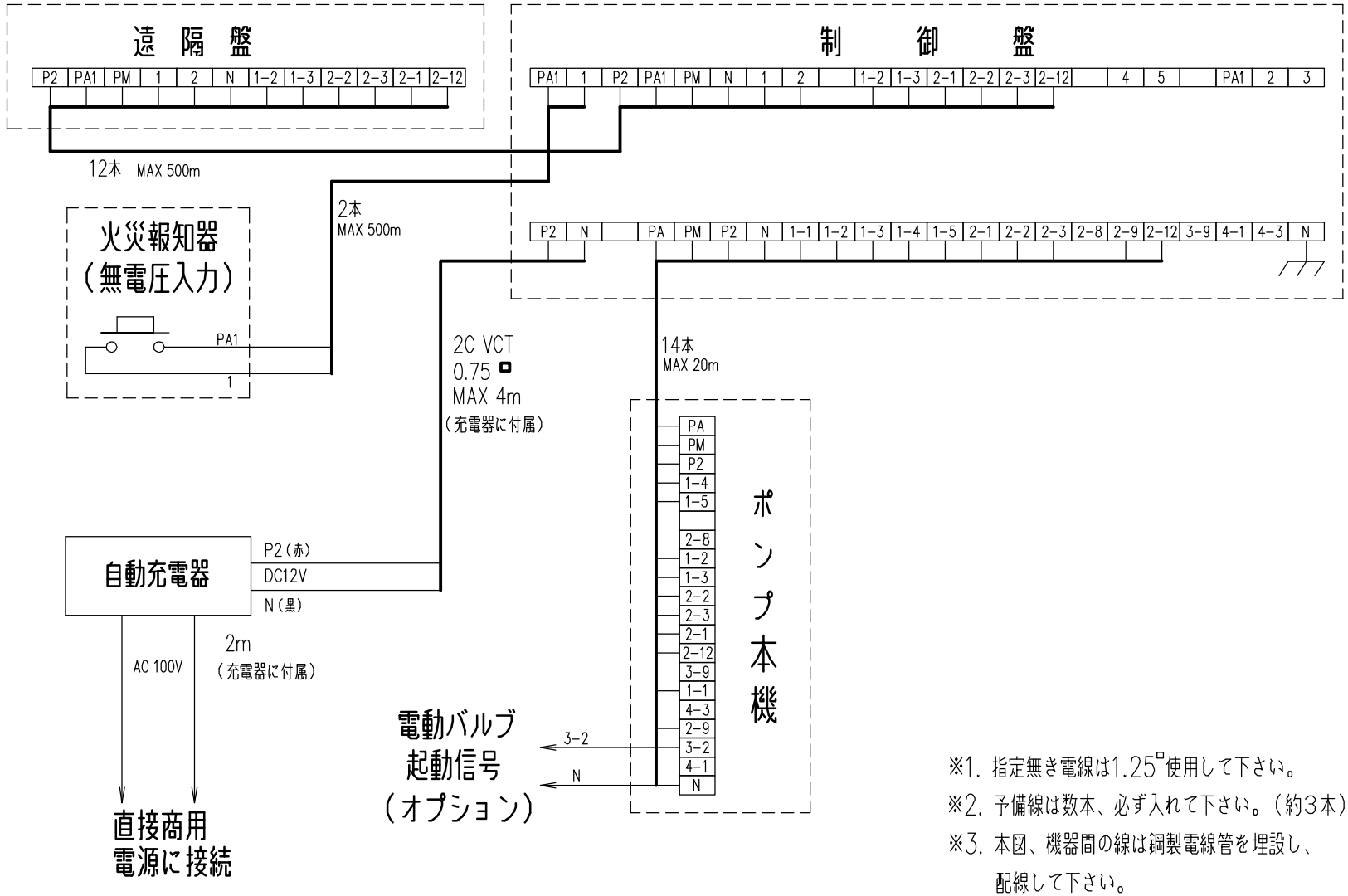
140707

資料11-2

自動充電器仕様書

仕様

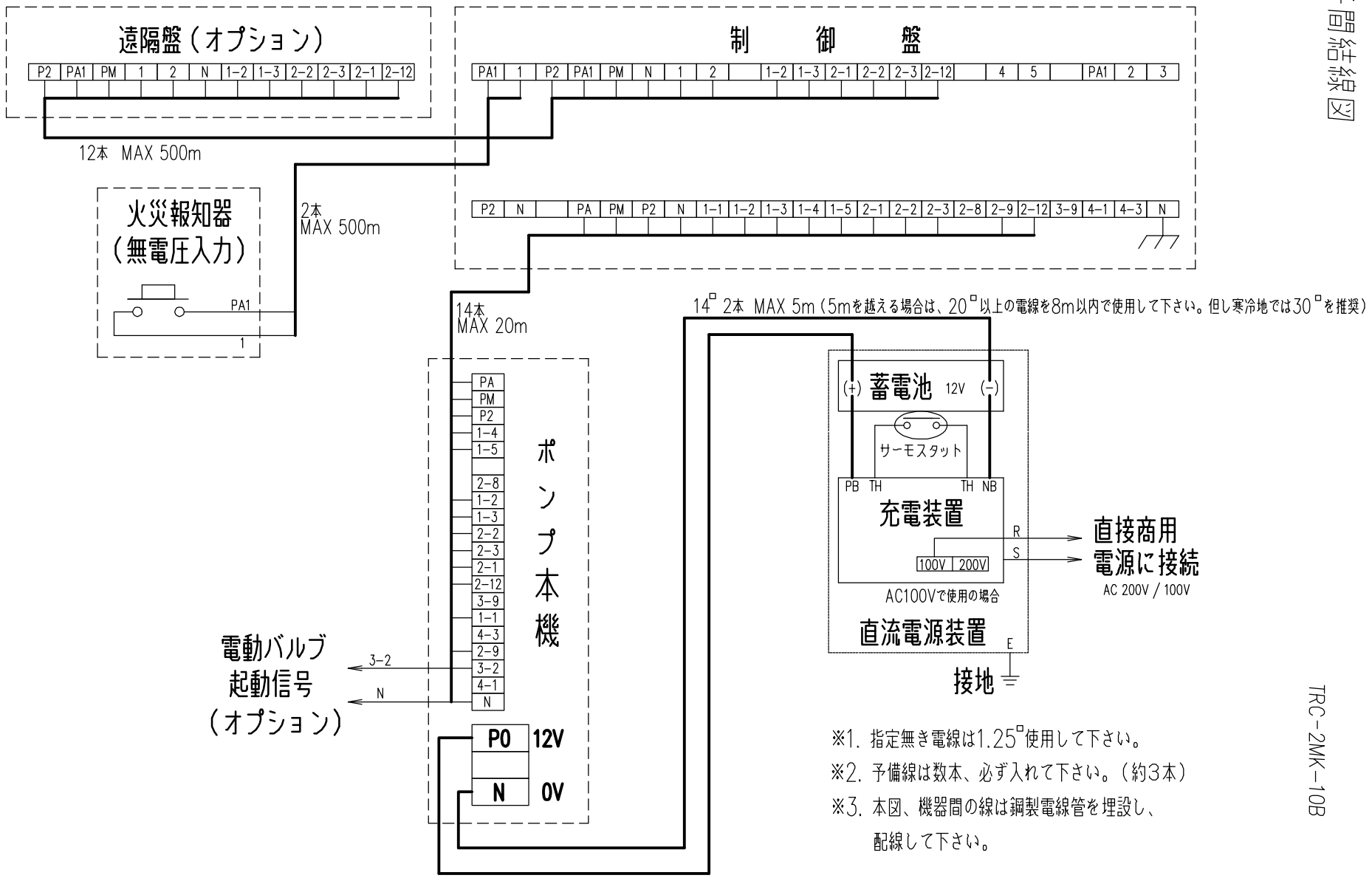
型式		JS800
交流入力	相数	単相
	定格電圧	AC100V±10%
	周波数	50～60Hz
直流出力	充電電圧	14.4V
	充電電流	0.8A（最大）
効率		85%
周囲温度		-20～50℃
冷却方式		自然対流
環境性能	防滴・防塵	IP65
機能	逆接続	エラー表示
	端子間ショート	自動遮断
	高温保護	電圧抑制
本体サイズ	L×W×H	141×51×36
質量		300g



※1. 指定無き電線は1.25㎟使用して下さい。
※2. 予備線は数本、必ず入れて下さい。（約3本）
※3. 本図、機器間の線は鋼製電線管を埋設し、
配線して下さい。

TRC-IM-28B
TRC-IM-20B

資料12-2
端子間結線図

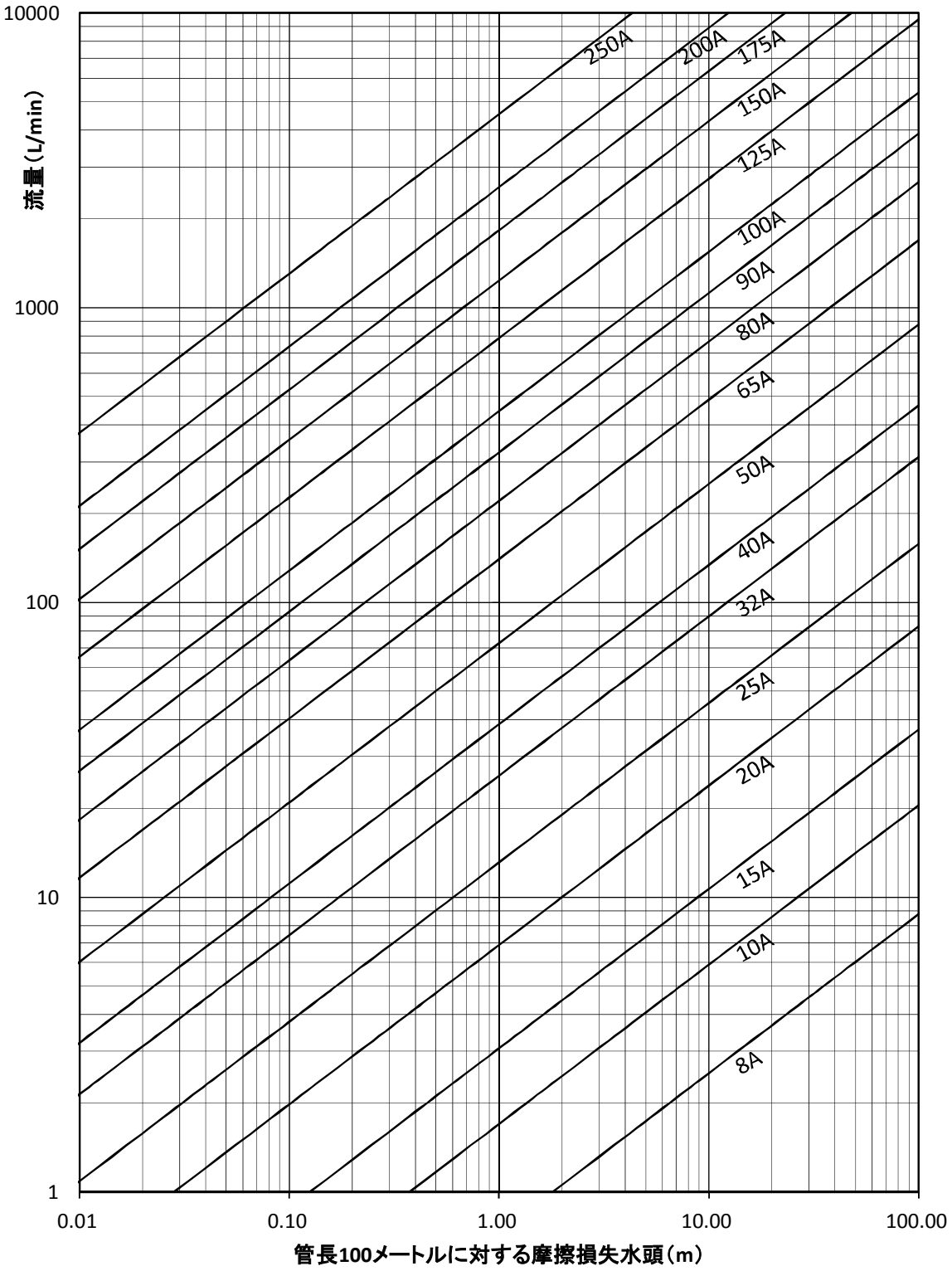


※1. 指定無き電線は1.25□使用して下さい。
※2. 予備線は数本、必ず入れて下さい。（約3本）
※3. 本図、機器間の線は鋼製電線管を埋設し、
配線して下さい。

TRC-2MK-10B

資料13－1

溶融亜鉛めっきを施した配管または溶融亜鉛メッキを施さない配管のうち湿式の部分に用いる摩擦損失水頭線図
配管用炭素鋼鋼管（JISG3452-2004）及び配管用アーク溶接炭素鋼鋼管（JISG3457-2005）のうち呼び厚さ7.9mmのものを使用する場合



資料 13-2

溶融亜鉛めっきを施した配管又は溶融亜鉛めっきを施さない配管のうち湿式の部分に用いる管継手及び弁類の直管長さ換算表配管用炭素鋼鋼管（JIS G 3452 － 1978）を使用する場合

種別＼大きさの呼び		A	8	10	15	20	25	32	40	50	65	80	90	100	125	150	200	250
		B	1/4	3/8	1/2	3/4	1	1-1/4	1-1/2	2	2-1/2	3	3-1/2	4	5	6	8	10
ねじ込み式	45°エルボ		0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5	0.7	0.8	0.9	1.1	1.3	1.6	－	－
	90°エルボ		0.2	0.3	0.3	0.5	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	1.7	2.0	2.3	2.8	3.3	－	－
	リタンベンド(180°)		0.5	0.7	0.8	1.1	1.4	1.9	2.2	2.8	3.5	4.2	4.9	5.5	－	－	－	－
	T又はクロス(分流90°)		0.4	0.5	0.7	0.9	1.2	1.5	1.8	2.3	2.9	3.5	4.0	4.5	5.6	6.6	－	－
溶接式	45°エルボ	ロング	－	－	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.9	1.1
	90°エルボ	ショート	－	－	－	－	0.3	0.4	0.5	0.6	0.8	0.9	1.1	1.2	1.5	1.8	2.3	2.9
		ロング	－	－	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.1	1.3	1.8	2.2
	T又はクロス(分流90°)		－	－	0.5	0.7	0.9	1.1	1.3	1.7	2.2	2.6	3.0	3.4	4.2	5.0	6.6	8.2
バルブ	仕切弁		－	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.9	1.2
	玉形弁		2.2	3.0	3.8	5.1	6.6	8.5	9.9	12.6	16.1	19.2	22.1	25.0	31.1	36.8	48.6	－
	アングル弁		1.1	1.5	1.9	2.6	3.3	4.3	5.0	6.3	8.1	9.6	11.1	12.5	15.6	18.5	24.4	－
	スイング逆止め弁		－	0.8	1.0	1.3	1.6	2.1	2.5	3.1	4.0	4.8	5.5	6.2	7.7	9.2	12.1	15.0

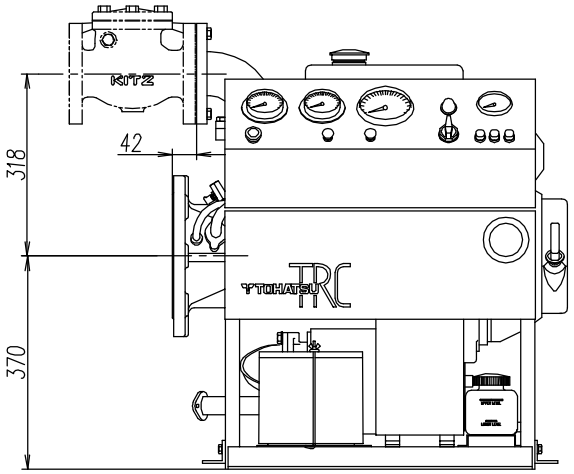
（注）径違いの管継手については、小さい方の径の呼びを適用すること。

資料１４

吸／吐出口取付関係図（新・旧）

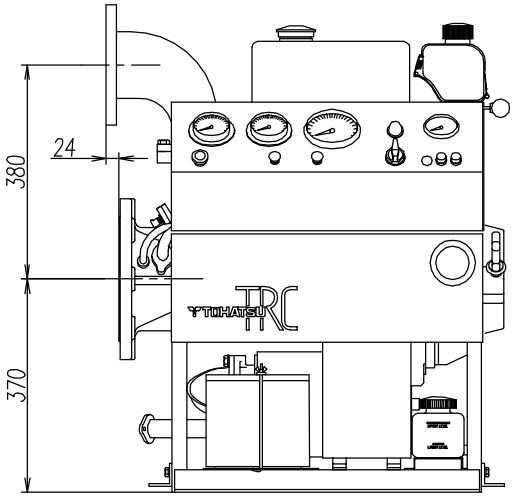
旧

TRC-IM-30



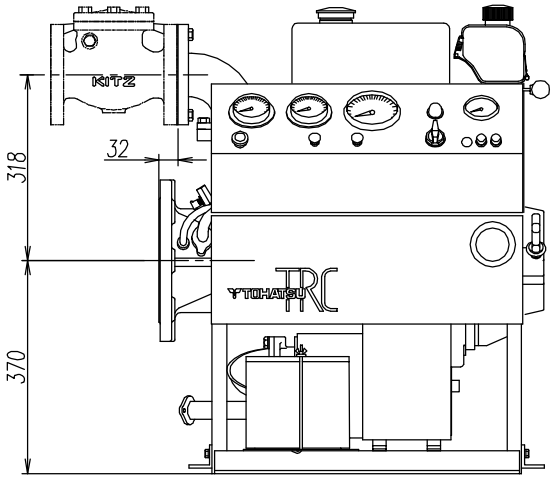
新

TRC-IM-28B

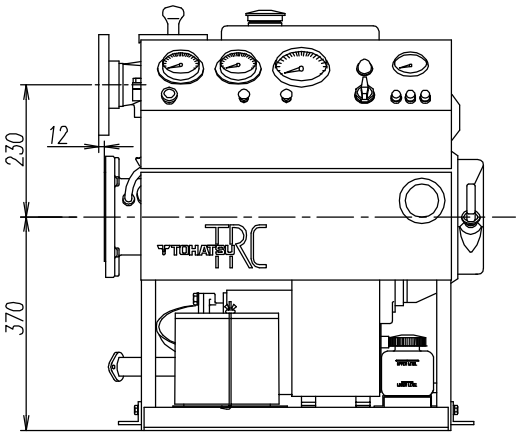


TRC-IM-28B

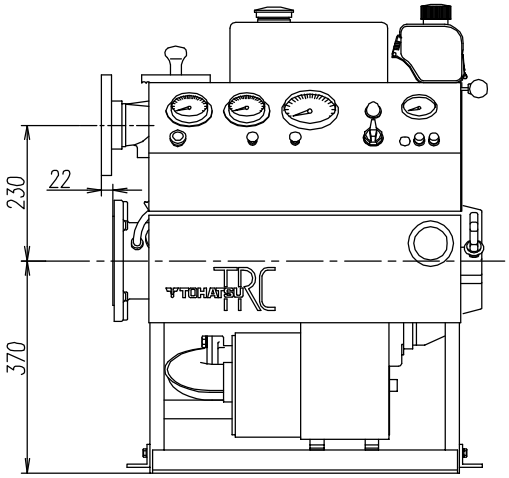
（吐出エルボを旧型に変更）



TRC-IM-24
TRC-2MK-10
TRC-2MK-14



TRC-IM-20B
TRC-2MK-10B



141205

オプション部品一覧

番号	部品名称	部品番号	IM-20B	IM-28B	2MK-10B	備考
1	サブマフラアッセンブリ	1A1-02360-0	○	○	○	
1-1	構成部品　マフラ本体	1A1-02362-0				
1-2	マフラカバー	1A1-02364-0				
1-3	パイプエキゾースト50A(2m)2本	1A1-39312-0				
1-4	ガスケット,取付ボルト他					
2	パイプエキゾースト50A(1m)	1K0-39312-0	○	○	○	
3	パイプエクステンション50A(2m)1本	1A1-39314-0	○	○	○	
4	ストレーナ(100A)	1A1-40071-0	○		○	
	ストレーナ(150A)	1A5-40073-0		○		
5	スペーサ(100A)	1J7-40008-0	○		○	旧TRC更新時 吸／吐出口　位置 合わせ用・・P5参照
	スペーサ(150A)	1J8-40009-0		○		
6	ガスケット(100A)	174-40023-1	○		○	
	ガスケット(150A)	657-40024-1		○		
7	遠隔盤	199-41050-0			○	
8	自動盤	1K0-41200-0	○	○	○	モーターポンプ連動用
9	リレーボックスアッシ(100A)	6F3-40530-0	○		○	電動バルブセット100A
	リレーボックスアッシ(150A)	6F3-40540-0		○		電動バルブセット150A

仕様書

TRC-ⅠM-20B

送水装置	型式名	TRC-ⅠM-20B	制御盤	寸法		300×200×120mm
	寸法	690×660×815mm		制御電圧		DC12V
	質量	122kg		始動方式	遠隔	押ボタン、火報連動
ポンプ	形式	片吸込1段タービンポンプ			試験	制御盤内の試験ボタン
	吸水口径(呼び)	100(10K RF)			始動時間	始動指示後40秒以内
	吐出口径(呼び)	65(10K FF)		保安装置	始動不能表示	スタータ作動回数9回後
	吐出量/揚程	2.0m^3/min 40m 1.5m^3/min 85m 1.0m^3/min 110m			吸水不能表示	真空ポンプ30秒作動後
					停止方法	停止スイッチ
					警報装置	ブザー、赤色灯点灯
	吸水方式	真空ポンプ装置			自動停止装置	冷却水温度上昇
	圧力計	-0.1MPa～0～1.5MPa	遠隔盤	寸法		200×200×120mm
	連成計	-0.1MPa～0～0.6MPa		制御電圧		DC12V
	駆動伝達装置	エンジン直結		始動方式		押ボタン、火報連動
内燃機関	形式	横形2気筒水冷2サイクル	充電装置	入電方式		自動充電単相全波
	定格出力	38.2kW(52PS)		入力電圧		AC100V
	定格回転数	5000rpm		出力電圧		DC12V
	内径×行程	78×78mm		出力電流		DC1.0A(10mA)
	総排気量	746mL		充電モニター		LED 赤/緑
	冷却方式	水冷式		蓄電池		12V-16Ah/5h
	燃料消費量	20L/h				
	燃料タンク容量	20L				
	潤滑方式	分離給油方式				
	オイルタンク容量	1.5L				
	始動方式	セルスタータ、リコイル				
	点火方式	C.D.イグニッション式				
	点火プラグ	NGK BP7HS-10				
	機関回転計	0～7000rpm				
	始動方法	エンジン直接セルスイッチ				
	停止方法	非常停止スイッチ				
	機関温度計	0～95℃				

仕様書

TRC-ⅠM-28B

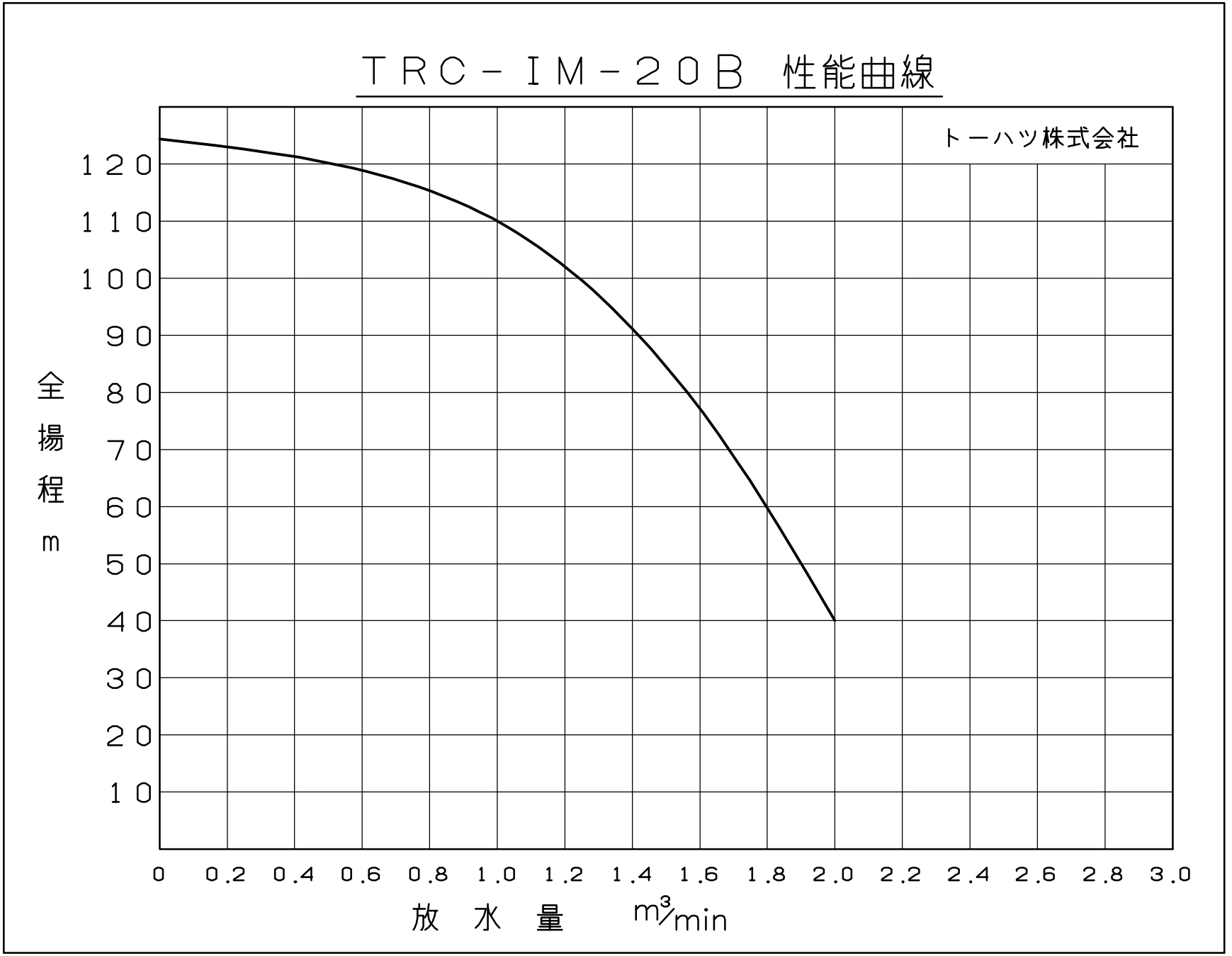
送水装置	型式名	TRC-ⅠM-28B	制御盤	寸法		300×200×120mm
	寸法	720×660×856mm		制御電圧		DC12V
	質量	129kg		始動方式	遠隔	押ボタン、火報連動
ポンプ	形式	片吸込1段タービンポンプ			試験	制御盤内の試験ボタン
	吸水口径(呼び)	150(10K RF)			始動時間	始動指示後40秒以内
	吐出口径(呼び)	100(10K FF)		保安装置	始動不能表示	スタータ作動回数9回後
	吐出量/揚程	2.8m^3/min 40m 1.8m^3/min 65m 1.0m^3/min 85m			吸水不能表示	真空ポンプ30秒作動後
					停止方法	停止スイッチ
					警報装置	ブザー、赤色灯点灯
	吸水方式	真空ポンプ装置			自動停止装置	冷却水温度上昇
	圧力計	-0.1MPa～0～1.5MPa	遠隔盤	寸法		200×200×120mm
	連成計	-0.1MPa～0～0.6MPa		制御電圧		DC12V
	駆動伝達装置	エンジン直結		始動方式		押ボタン、火報連動
内燃機関	形式	横形2気筒水冷2サイクル	充電装置	入電方式		自動充電単相全波
	定格出力	38.2kW(52PS)		入力電圧		AC100V
	定格回転数	5000rpm		出力電圧		DC12V
	内径×行程	78×78mm		出力電流		DC1.0A(10mA)
	総排気量	746mL		充電モニター		LED 赤/緑
	冷却方式	水冷式		蓄電池		12V-16Ah/5h
	燃料消費量	20L/h				
	燃料タンク容量	20L				
	潤滑方式	分離給油方式				
	オイルタンク容量	1.5L				
	始動方式	セルスタータ、リコイル				
	点火方式	C.D.イグニッション式				
	点火プラグ	NGK BP7HS-10				
	機関回転計	0～7000rpm				
	始動方法	エンジン直接セルスイッチ				
	停止方法	非常停止スイッチ				
	機関温度計	0～95℃				

仕様書

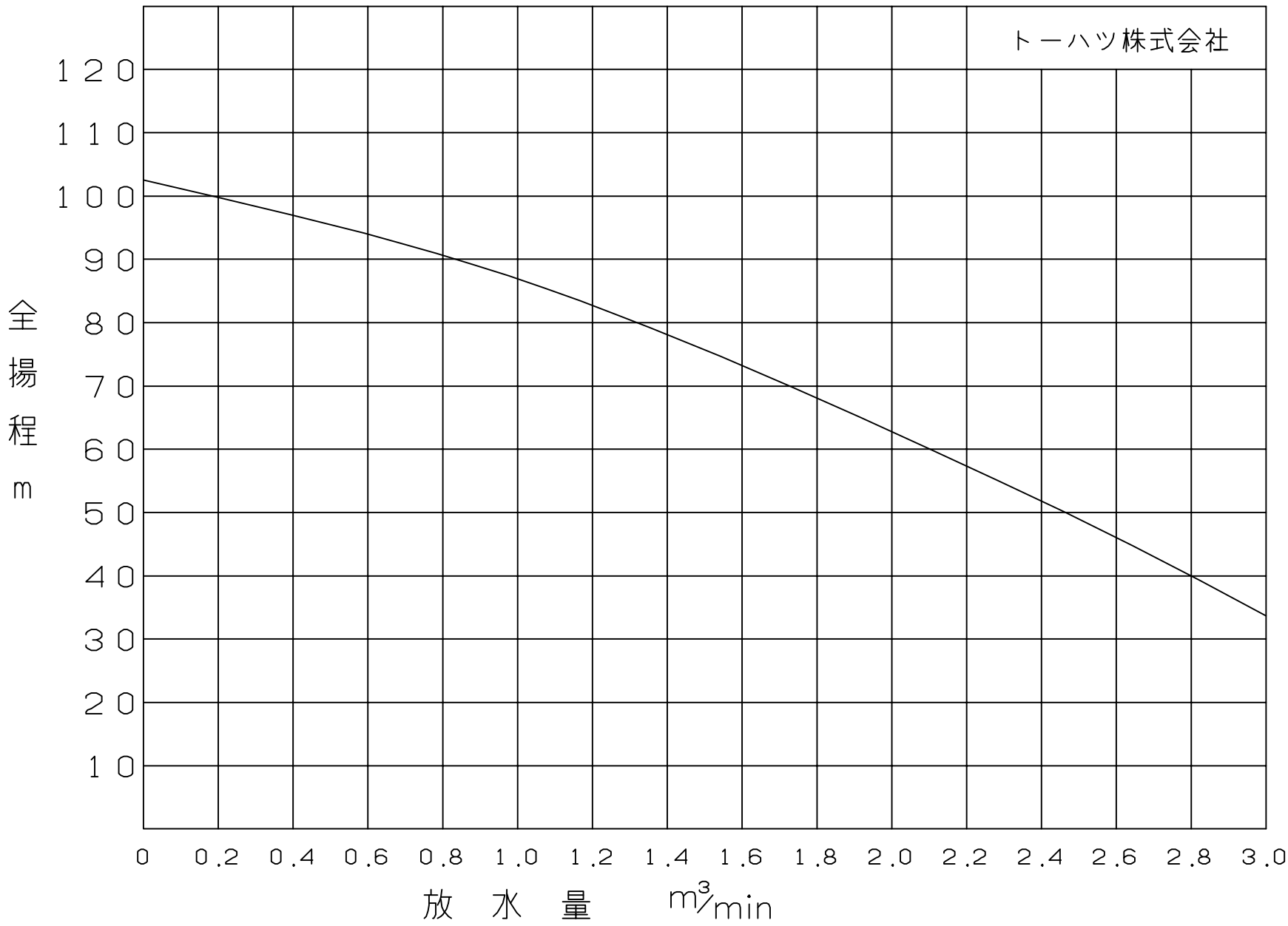
TRC-2MK-10B(内燃機関駆動加圧送水装置)

送水装置	認定型式番号	評14-362号	制御盤	型式記号		TRC-2M
	型式名	TRC-2MK-10B		寸法		300×200×120mm
	寸法	690×660×815mm		制御電圧		DC12V
	質量	116kg		始動方式	遠隔	押ボタン、火報連動
ポンプ	型式記号	TRC-2/V75			試験	制御盤内の試験ボタン
	形式	片吸込1段タービンポンプ			始動時間	始動指示後40秒以内
	吸水口径(呼び)	100(10K RF)		保安装置	始動不能表示	スタータ作動回数9回後
	吐出口径(呼び)	65(10K FF)			吸水不能表示	真空ポンプ30秒作動後
	定格吐出量 (全揚程) (定格4点範囲)	1.0m^3/min 100m			停止方法	停止スイッチ
		0.4m^3/min 105m			警報装置	ブザー、赤色灯点灯
		1.0m^3/min 35m			自動停止装置	冷却水温度上昇
		0.2m^3/min 40m	遠隔盤	寸法		200×200×120mm
	吸水方式	真空ポンプ装置		制御電圧		DC12V
	圧力計	-0.1MPa～0～1.5MPa		始動方式		押ボタン、火報連動
	連成計	-0.1MPa～0～0.6MPa	始動用直流電源装置	認定番号		本体の銘板に記載
	駆動伝達装置	エンジン直結		寸法		600×450×950mm
内燃機関	型式記号	2WT78GA		入力		単相200/100V(切換可)
	形式	横形2気筒水冷2サイクル		出力DC	電圧	浮動13.38V
	定格出力	38.2kW(52PS)			電流	6.0A
	定格回転数	5000rpm			最大垂下電流	7.2A
	内径×行程	78×78mm		指示	直流電圧計	0～50V
	総排気量	746mL			直流電流計	0～10A
	冷却方式	水冷式		製造者		芝電機株式会社
	燃料消費量	20L/h	始動用蓄電池	形式		制御弁式据置鉛蓄電池
	燃料タンク容量	20L				(密閉式)
	潤滑方式	分離給油方式		型式記号		MSE-50-12
	オイルタンク容量	1.5L		電圧		12V
	始動方式	セルスタータ、リコイル		容量		50Ah/10HR
	点火方式	C.D.イグニッション式		製造者		古河電池株式会社
	点火プラグ	NGK BP7HS-10				
	機関回転計	0～7000rpm				
	機関温度計	0～95℃				

ＴＲＣ－ＩＭ－２０Ｂ　性能曲線

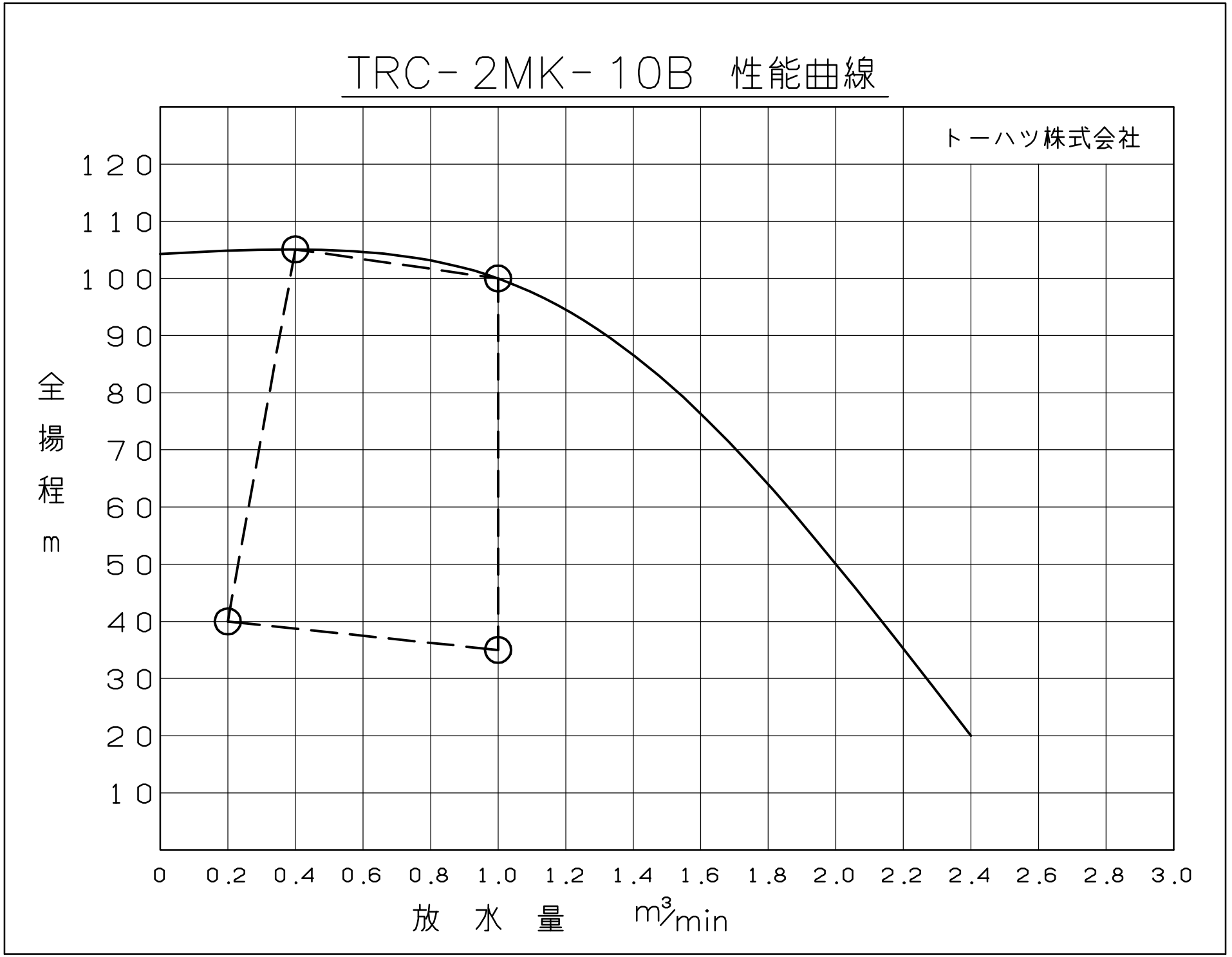


ＴＲＣ－ＩＭ－２８Ｂ　性能曲線



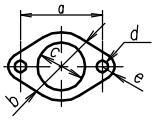
141205

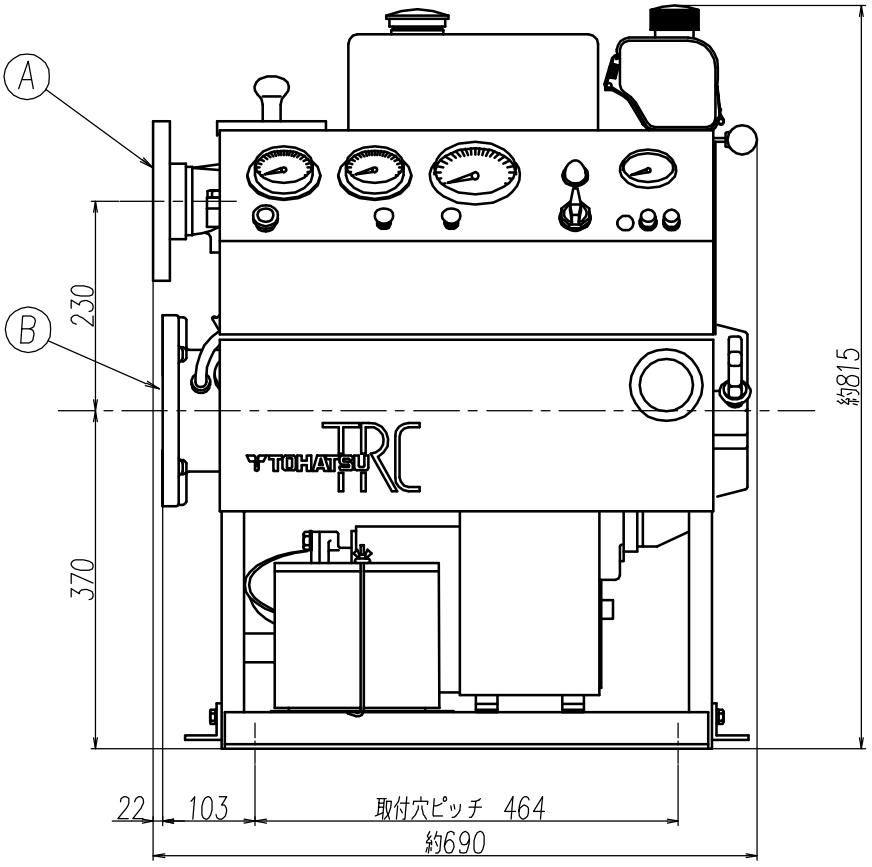
TRC－2MK－10B　性能曲線

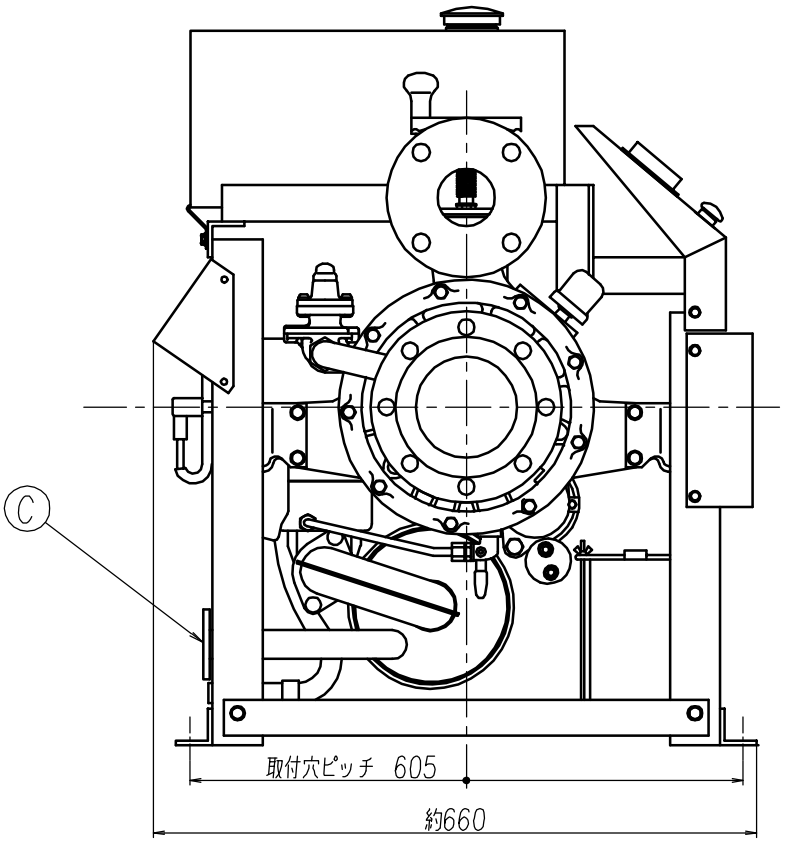


エンジンポンプ外観図

型式：TRC-IM-20B

A	吐出側フランジ	JIS B 2210 65A 10K (FF)
B	吸水側フランジ	JIS B 2210 100A 10K (RF)
C	排気口フランジ	 a: 60mm　d: 2-8.5mm b: 50mm　e: 9mm c: 34.9mm

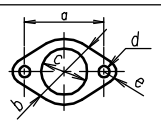


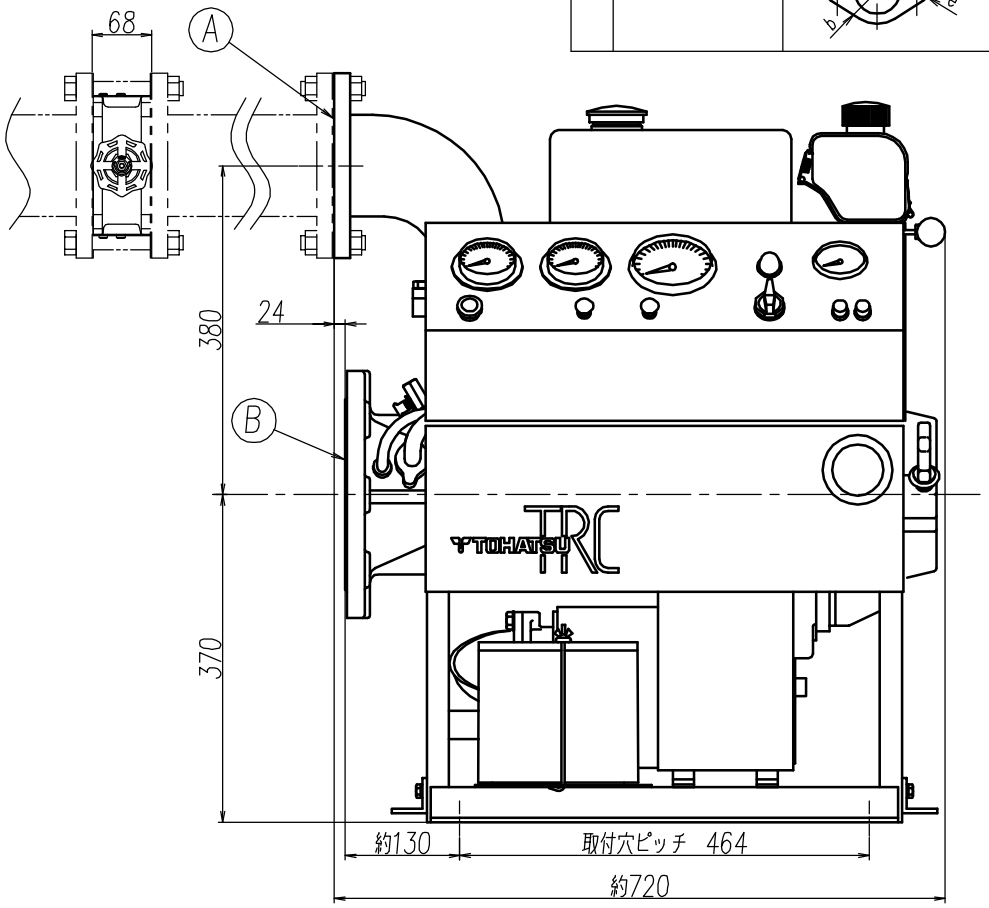


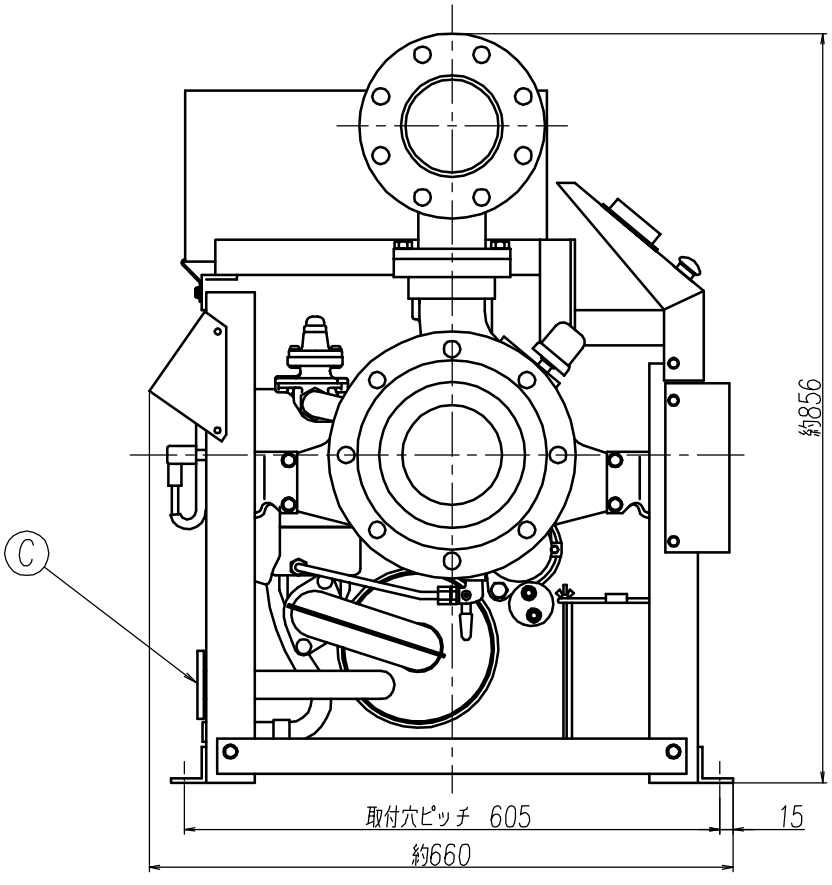
141205

エンジンポンプ外観図

型式：TRC-IM-28B

A	吐出側フランジ	JIS B 2210 100A 10K (FF) 100A ウエハーチャッキバルブ付
B	吸水側フランジ	JIS B 2210 150A 10K (RF)
C	排気口フランジ	 a: 60mm d: 2-8.5mm b: 50mm e: 9mm c: 34.9mm

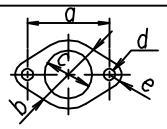


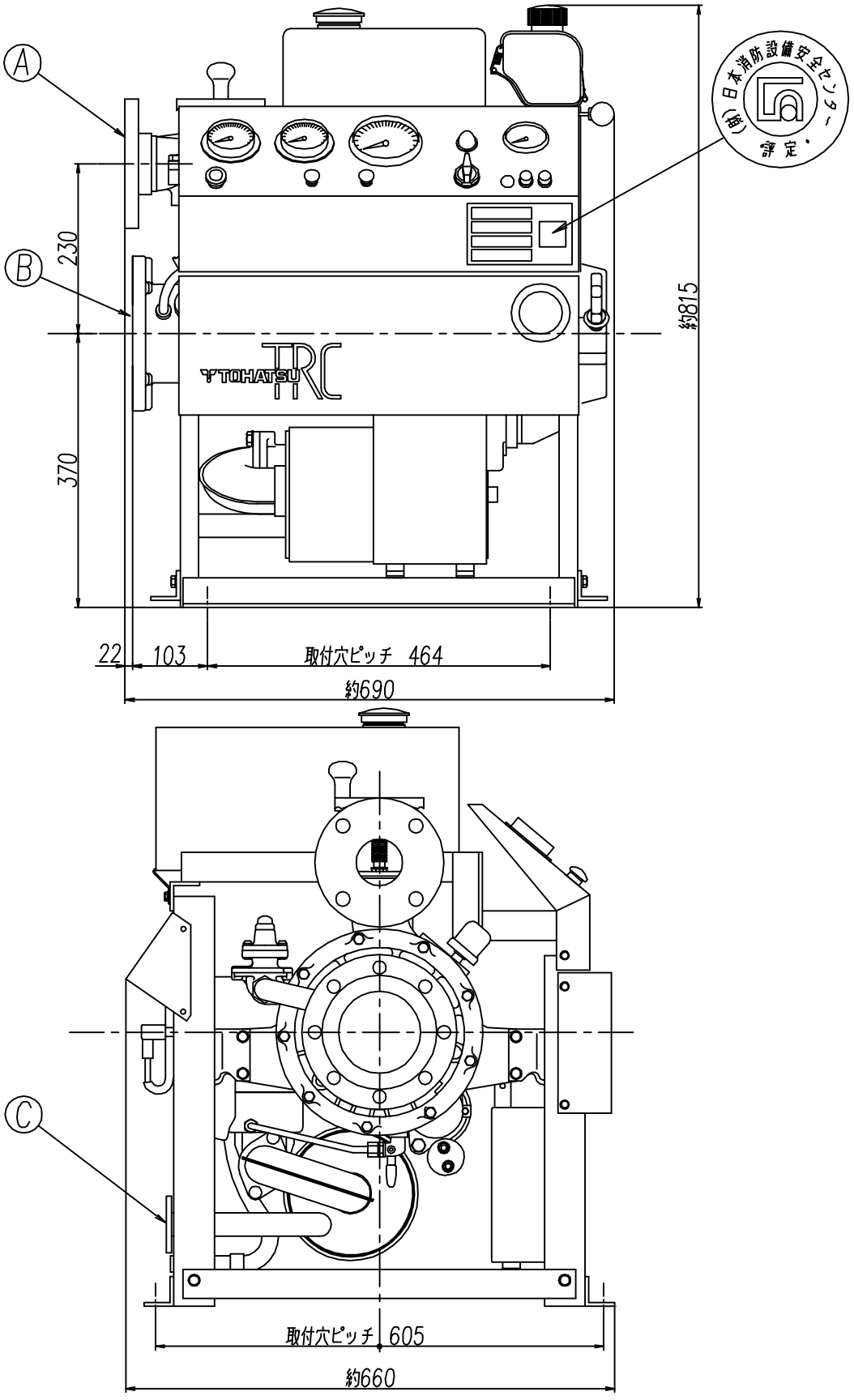


141205

エンジンポンプ外観図

型式：TRC-2MK-10B

A	吐出側フランジ	JIS B 2210 65A 10K (FF)
B	吸水側フランジ	JIS B 2210 100A 10K (RF)
C	排気口フランジ	 a: 60mm d: 2-8.5mm b: 50mm e: 9mm c: 34.9mm

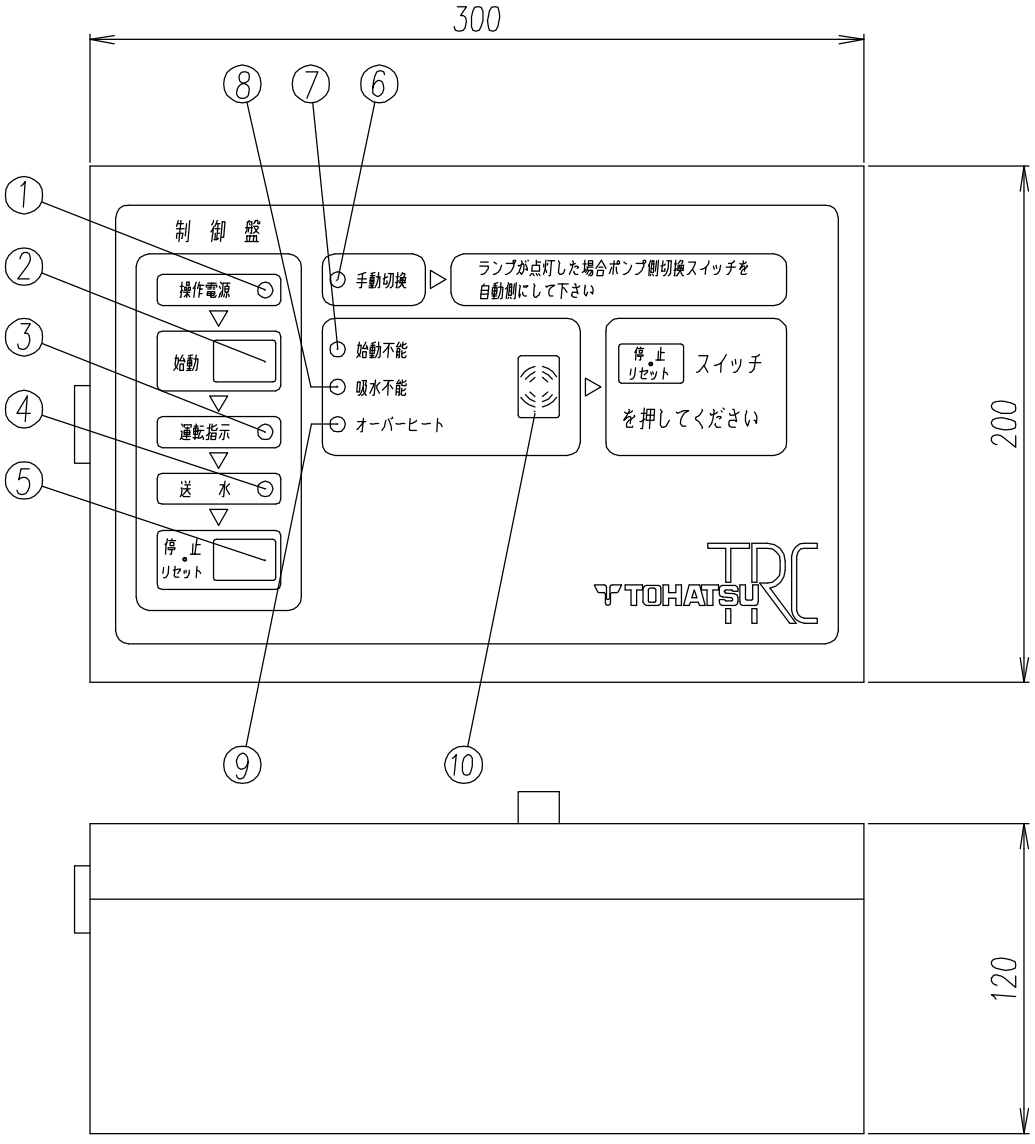


141205

TRC-IM-28B
TRC-IM-20B
TRC-2MK-10B

制 御 盤 外 観 図

1	操作電源表示灯	(緑)	6	手動表示灯	(赤)
2	始動スイッチ	(緑)	7	始動不能表示灯	(赤)
3	運転指示表示灯	(緑)	8	吸水不能表示灯	(赤)
4	送水表示灯	(緑)	9	オーバーヒート表示灯	(赤)
5	停止・リセットスイッチ	(赤)	10	警報ブザー	

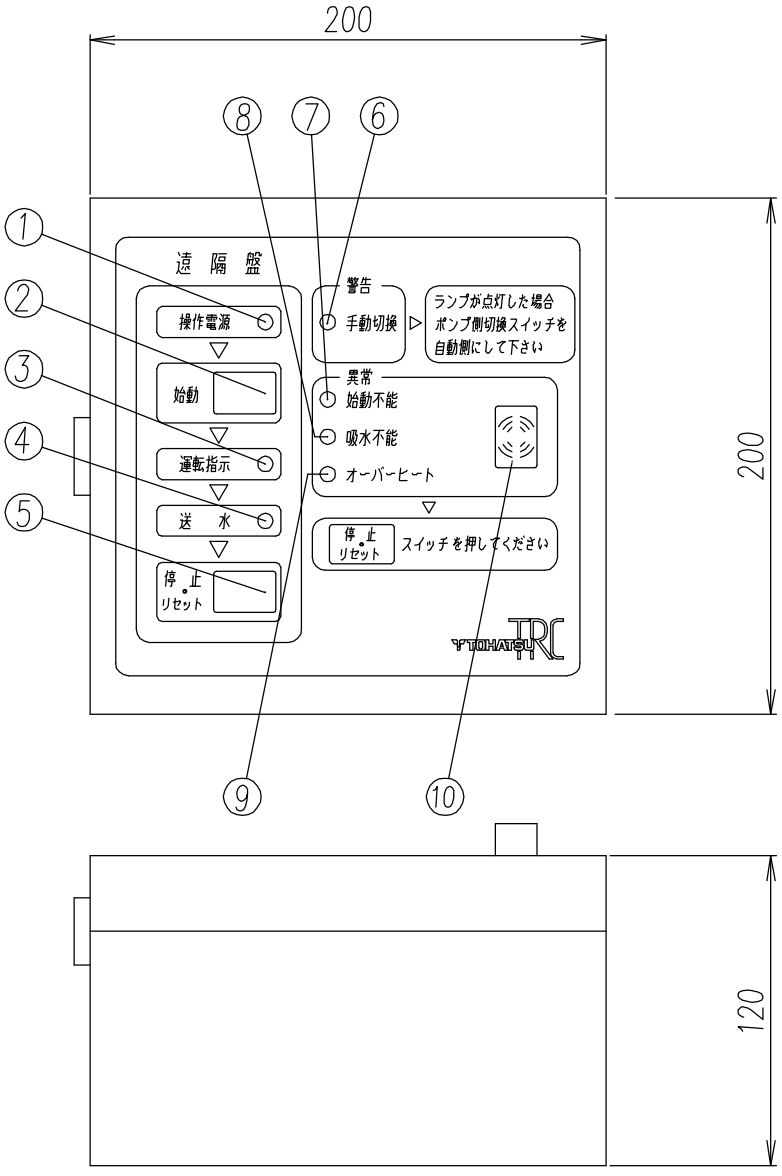


141205

TRC-IM-28B
TRC-IM-20B
(TRC-2MK-10B)オプション

遠 隔 盤 外 観 図

1	操作電源表示灯	(緑)	6	手動表示灯	(赤)
2	始動スイッチ	(緑)	7	始動不能表示灯	(赤)
3	運転指示表示灯	(緑)	8	吸水不能表示灯	(赤)
4	送水表示灯	(緑)	9	オーバーヒート表示灯	(赤)
5	停止・リセットスイッチ	(赤)	10	警報ブザー	

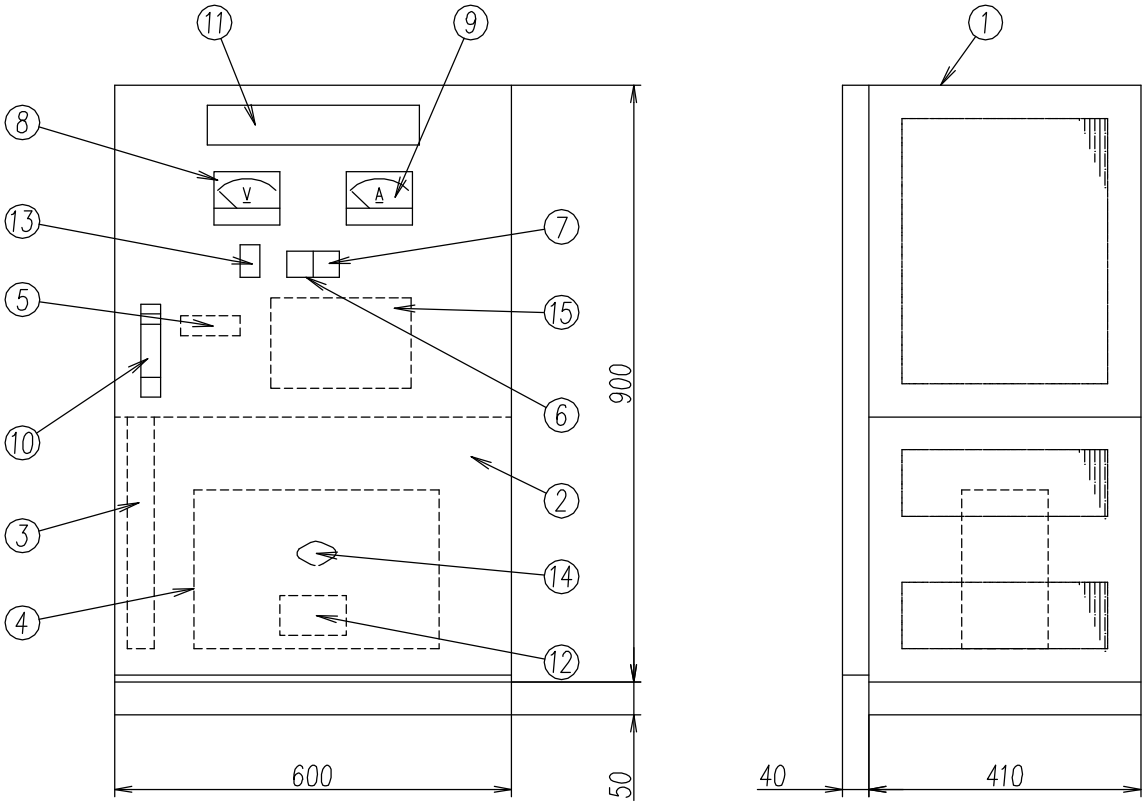


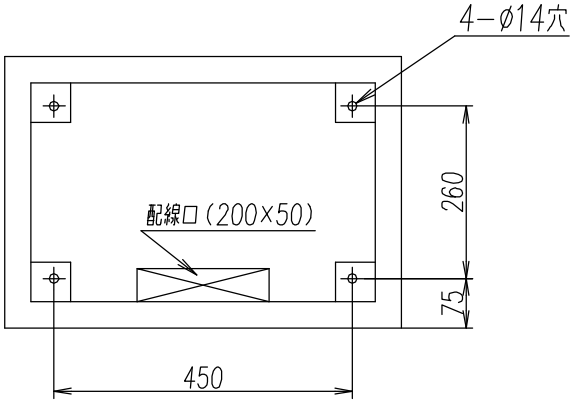
141205

直 流 電 源 装 置 外 観 図

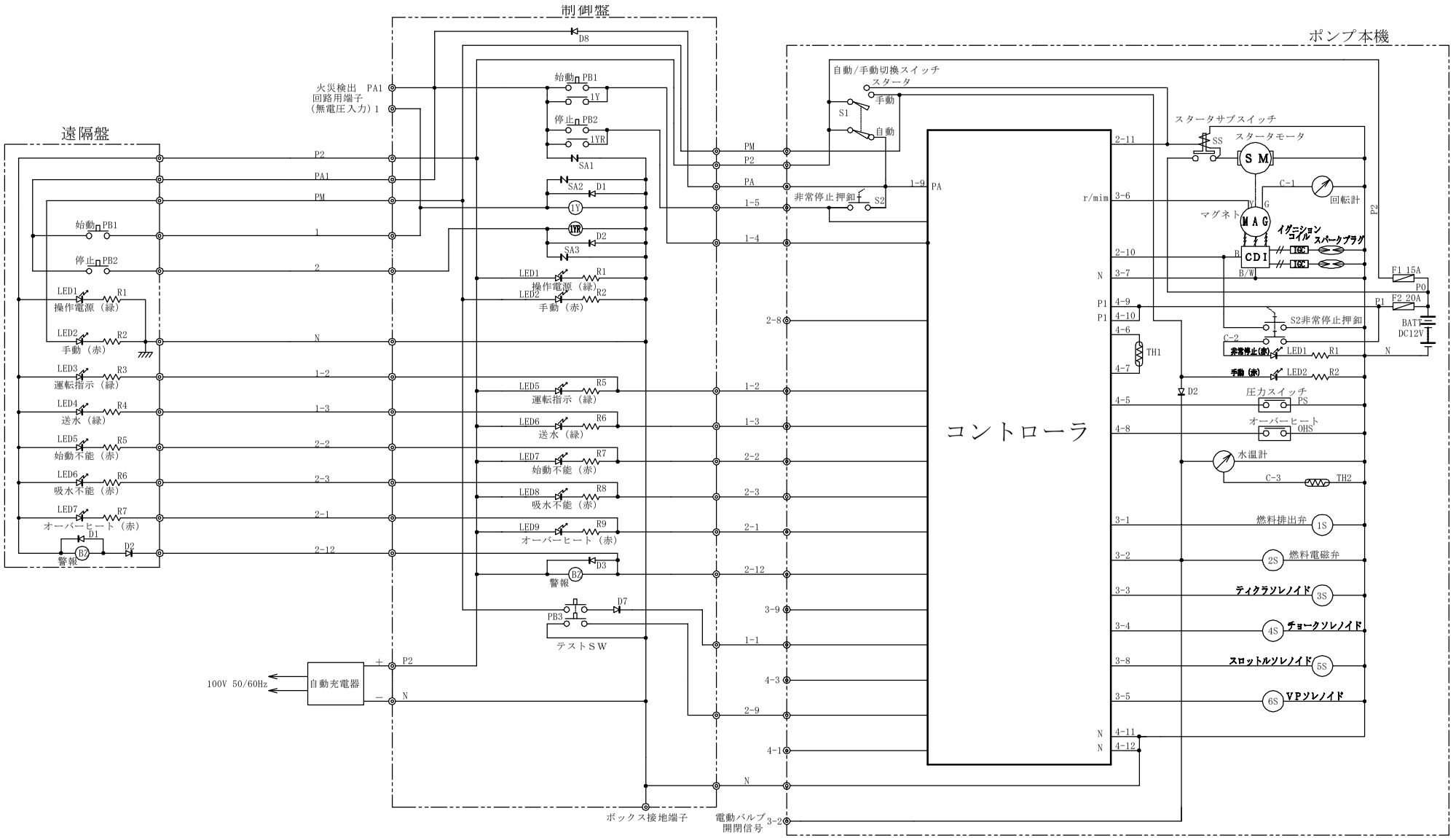
TRC－2MK－10B

1. 本体ケース	7. 表示灯	13. 電圧計切換器
2. 本体パネル	8. 直流電圧計	14. 温度検出器
3. 配線用ダクト	9. 直流電流計	15. 結線図
4. 蓄電池	10. 錠付ノブ	
5. 入出力端子台	11. 盤名表示板	
6. 表示灯	12. 定格銘板	

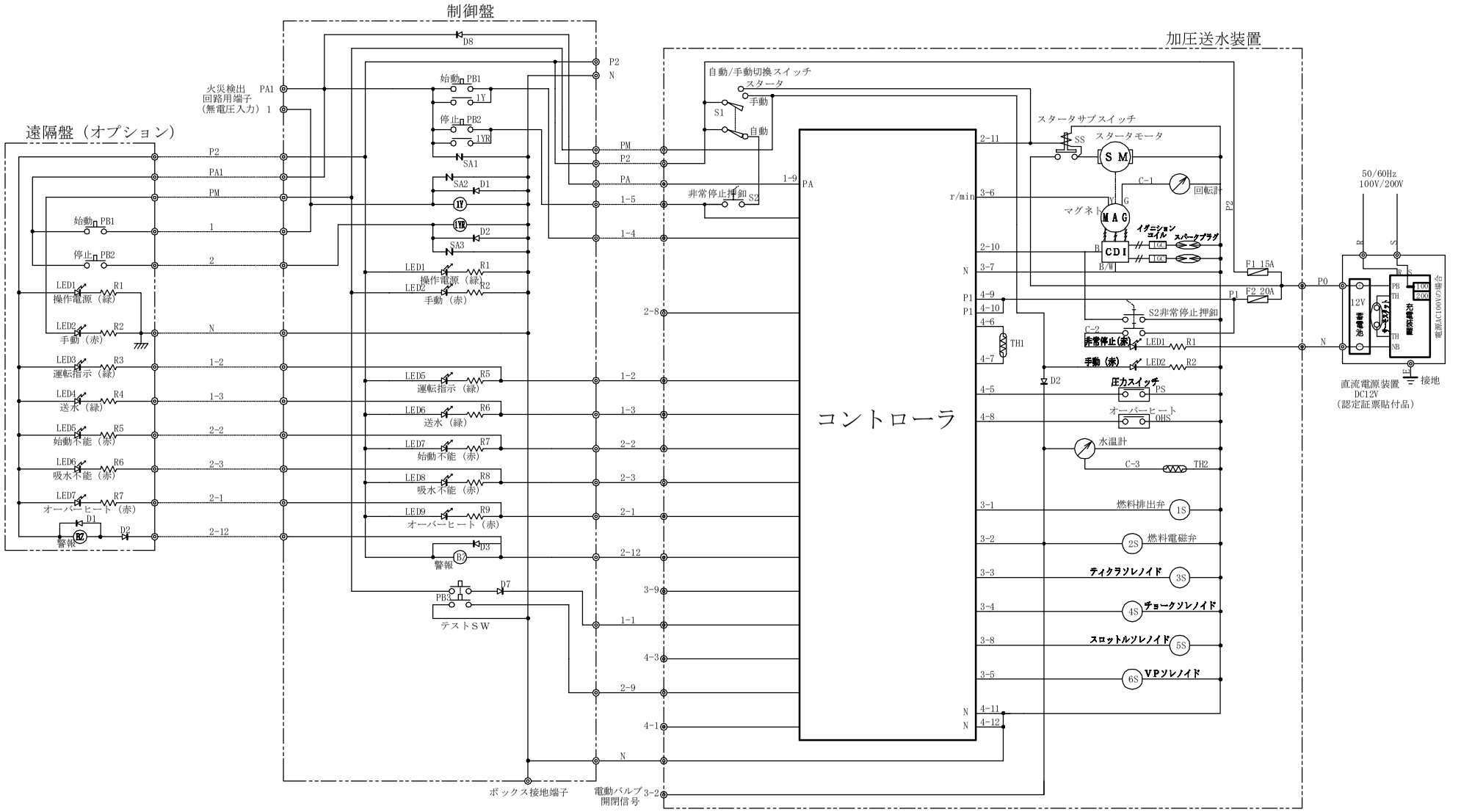




14120



機種	TRC－IM－20B TRC－IM－28B
リモートコントロールポンプ 展開接続図	


制御盤
加圧送水装置
遠隔盤（オプション）
コントローラ
火災検出回路用端子（無電圧入力）
始動 PB1
停止 PB2
操作電源（緑）
手動（赤）
運転指示（緑）
送水（緑）
始動不能（赤）
吸水不能（赤）
オーバーヒート（赤）
警報
テストＳＷ
ボックス接地端子
電動バルブ開閉信号
自動/手動切換スイッチ
スタータ
手動
自動
非常停止押釦
スタータサブスイッチ
スタータモータ
回転計
マグネト
イグニションコイル
スパークプラグ
S2非常停止押釦
圧力スイッチ
オーバーヒート
水温計
燃料排出弁
燃料電磁弁
ティクラソレノイド
チョークソレノイド
スロットルソレノイド
VPソレノイド
50/60Hz
100V/200V
直流電源装置
DC12V
（認定証票貼付品）
接地
機種
ＴＲＣ－２ＭＫ－１０Ｂ
加圧送水装置　　展開接続図

営業品目

●消防ポンプ　●防災システム
●小型全自動消防車　●軽四輪駆動消防車
●ジェット・揚水ポンプ　●船外機
●プレジャーボート　●輸送用冷凍装置

トーハツ株式会社

http://www.tohatsu.co.jp

本社

防災営業部　〒174-0051　東京都板橋区小豆沢３－５－４
電話　０３（３９６６）３１１５

営業拠点

防災九州　〒816-0092　博多区東那珂２－１０－５５
電話　０９２（４１１）８７７０

防災関西　〒530-0043　大阪市北区天満１－８－２７
電話　０６（６３５８）２９７１

防災中部　〒174-0051　東京都板橋区小豆沢３－５－４
電話　０３（３９６６）３１１５

防災中央　〒174-0051　東京都板橋区小豆沢３－５－４
電話　０３（３９６６）３１１５

防災東北　〒984-0816　宮城県仙台市若林区河原町 1-5-1
電話　０２２（３９８）４８０６

防災北海道　〒174-0051　東京都板橋区小豆沢３－５－４
電話　０３（３９６６）３１１５

■　消防ポンプの整備は信頼ある資格者が行いましょう。